京城日報

二十九日夕刊

定價 一部金二錢 一ケ月金五拾錢(郵送料共) 三ケ月金壹圓四拾五錢 六ケ月金[illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible] 振替貯金口座京城六〇〇番

東京株式特電

歐洲大戰亂

▲獨軍損害四百五十萬

コツペンハーゲンよりの來電に據れば最近ドウインスク、リガ方面に於ける獨軍の損害は敵の發表するものより遙に多く共數二十萬と註せらる最近獨軍の發表せる第三十回の死傷者名簿はドウインスク、リガ地方に於る獨軍の損害を十五萬九千六百七名と記し開戰以來の普魯西軍損害を二百二萬六千二百九十一と揭載せり此他バイエルン軍の損害廿二萬八千、サクゼン軍の損害廿一萬一千、ウユールテンベルグ軍の損害廿八萬八千及獨逸海軍の損害五萬四千二十を合すれば四百五十萬以上に上るべしと(倫敦電報)

▲獨墺軍の急激進軍
巴爾幹の一大決戰か

獨墺軍は急激に進軍しつゝありて目下ナスチールより六十哩を隔てゝウスクブに在り敵は聯合軍が增援されざる以前に一大決戰をなさんと目論見つゝありと信ぜらる(倫敦電報)

▲希臘閣議

希臘首相スクウロダー氏は皇帝に謁見せり內閣は聯合國側より提出せる第二通牒に就き協議したり(倫敦電報)

雜報

◎天機奉伺電請

天皇陛下には御大典の諸儀御滯りなく乾へさせ給ひ廿八日東京へ御還幸あらせられたるを以て山縣政務總監は廿九日午前十時宮內大臣に宛て天機奉伺の傳奏方を電請したり

◎王家天機奉伺

李王殿下は二十八日東京に還幸あらせられたるに付き李王、李太王兩殿下並に李堈公殿下は廿九日正午使者を總督府に派して政務總監を訪ひ天機奉伺の傳達方を依賴せられたり

◎奉納一切經

海印寺の藏版に係る一切經は豫て總督府に於て印刷に附し過般出來せしは既記の通りなるが其內京都泉涌寺に奉納す可き分は黑田囑託携帶、二十九日午後七時五十分南大門驛發汽車にて上洛す

◎農技官會同(第二日)

各道農業技術官會同第一日は既記の如く二十九日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、各道農業技師十三名は勿論總督府よりは石塚長官、中村技師、人見課長其他技師一同、模範場よりは本田場長以下五名の技師出席し石塚長官統裁の下に地方狀況の報告ありて豫定の如く午後四時閉會したり

◎豫算と森林會計
營林廠豫算一般會計に入る

朝鮮總督府大正五年度豫算は歲入歲出とも臨時部、經常部を合し總計五千九百五十四萬九千餘圓にして前年度豫算に比し九十八萬餘圓を增加せるは既報の如くなるが同豫算には從來獨立し居たる朝鮮森林特別會計を一般會計に繰り込みたるが爲めにして此豫算額約百三十萬圓を控除せば五年度豫算は前年度豫算に比し結局卅餘萬圓の減額を來せる譯なり、而して從來獨立し居たる此森林特別會計を明年度より一般會計に編入せし理由如何といふに併合當時に於ける營林廠の事業は種々の理由に依り特別會計編成の止むなきものありしも爾來同事業は著々進步し今日に於ては最早斯の如き少許の會計をして獨立せしむるの必要なきに至りたる結果にして要するに財政の一進步と目し得可し、因に此營林廠費は前年度に比し豫算面に於て多少の差額あるも道は豫備費の關係にして實際に於ては前年度に比し全く同額なり

◎泰川灌漑成る
東拓の施行に係る

東拓會社にて平安北道龜城郡及び泰川郡に跨がる耕地約二千四百町步に灌漑する目的を以て大正二年五月に起工し爾來進捗中の水利工事は本月二十四日を以て略竣工し同二十七日には用水新設水路の全線に通じ地方農家の歡喜其極に達せる旨會社に電報ありたりと

◎認可は來月
京城商業會議所

三日頃=選舉も年內に必ず行はん=多少定款中に修正あり

京城商業會議所創立に付ては目下京城日本人商業會議所樓上の一室を其事務所に充て準備中の所此の程に至り選被選舉名簿は全部編成を終り今や剩す所は內鮮人別に被選舉人の員數を算出する迄に進捗したり

▲總督の決裁 豫ねて本月九日京城府に提出したる京城會議所定款は其の後道を經て總督府に廻附され審議中なりしが二十七日午後に至り東京滯在中なる寺內總督より『京城商業會議所の認可申請書は今や本府に提出の筈なるが認可の件は如何なりしや』との意味の電報に接したるを以て總督府よりは今日中に一件書類を總督の手許に郵送し東京に於て親しく總督の決裁を受くることゝなりたりと仄聞す

▲期日通り選舉 而して一方選舉期日は十二月十五日と定められあれば若し認可の定款にして此の點の修正を見ざる限り規定通りの選舉を行はるゝものにして幸ひ東京滯在中なる原田金之祐氏にも諮問する所の便宜もあれば比較的早く決裁を受けらる可きを以て來月三四日頃迄には認可の運びに接する見込なり

▲各道の模範定款 京城會議所定款の認可は全道の各會議所に至大の關係を有するものなれば定款中一二京城會議所に特有のもの、外其他は大體京城會議所の定款に準じて認可を申請するに至る可きものなりと云ふ因に近く認可さる可き京城會議所の定款中には幾に提出したるものを多少當局に於て修正を行ひたるもの、如し

◎未曾有の船熱

歐洲戰亂の影響を受けて船價及び傭船料は異常の騰貴を來たし爲めに傭船熱は海運界を壓せり、原因は戰亂の爲め聯合側の商船のみにても四百萬噸以上を破壞せられたると軍用船として徵發せられたる結果歐洲沿岸航路の商船著しく缺乏し同時に南洋方面の船腹に減少を來したるに依るものなり、從來大連橫濱間位の航路に適當なりしデットウエート四千噸型の本邦汽船は皆倫敦近海の航路に三萬圓以上の高價なる料金にて傭船に從事し南洋方面にては三千噸型の千噸內外の小汽船は異常の需要を來たし汽船所有者は以外の收益を獲得しつゝあり、目下內地汽船にして傭船に非ざる自由航運は十隻餘に過ぎざる有樣なり、大連にても榎本商會主は數年前八萬圓內外にて購求した老朽船和田丸を二十五萬五千圓にて芝罘の岩城商會に賣船し某氏は之を年三萬四千圓の契約にて傭船せり又先般滿鐵會社にて一萬九千圓にて傭ひし玖摩方丸は數日後にて二割方の料金騰貴せる勢ひなり大連にて相當汽船を所有せるは田中商會なるが同店所有の蔚山丸は二十六萬圓にて買船せしもの一箇月後の今日にては三十五萬圓に騰貴せり、なほ某船主の談に依れば今後も船價は騰貴の一方なる可く傭船の騰貴も盛んに行はるべしとの事なり

◎支那海關と邦人

支那外國貿易額に比例して採用すべき海關外國人中英佛獨最も多數を占め支那外國貿易額に於て第二位に立てる日本人數少なきは權衡を失へりとの非難多かりしが總稅務司は玆に鑑みる所ありて此際日本人十名を四等幫辦として採用する事に決し北京及び東京に於て採用試驗を行ひ東京へはバウラ氏試驗委員として出張せり志願者は百數十名ありしも其中三十名を精選して試驗を行ひ北京にても二三十名に就き試驗し兩者の試驗成績を合せて十名の及第者を決定する都合なるも及第者を同時に採用するにあらず缺員の生じたる都度順次採用すべし歐洲大戰の結果海關奉職の歐洲人中召集を受け若くは志願兵として歸國せし者多きも戰後歸任すべき約あるを以て不在者多きに拘はらず定員外の採用を爲し能はずと(大連)

◎農業技術官宿舍

農業技術官會同出席者の宿所左の如し

▲高見長恒(京畿)太平町一丁目四二▲宮本政藏(忠北)旭町一丁目浦尾旅館▲指ノ宿武吉(忠南)南山町三丁目巴城館▲立花通年(全北)浦尾旅館▲穀田豐(全南)巴城館▲岸秀次(慶北)浦尾支店淵碧▲石井豐吉(慶南)旭町二丁目不知火旅館▲永島英悅(黃海)明町山本旅館▲三宅鐙吉(平南)巴城館▲佐藤政次郎(平北)巴城館▲井村哲四郎(江原)浦尾旅館▲竹內進(咸南)浦尾旅館▲八田吉平(咸北)巴城館

▲勸業模範場

▲本田幸介(水原)南山町三丁目巴城館▲武田總七郎(同)同▲向坂幾三郎(同)旭町一丁目浦尾旅館▲宮原忠正(同)巴城館▲久次米邦藏(群山支場)明町山本旅館▲三原新三(木浦支場)浦尾

◎山形大佐引籠

山形憲兵大佐は頸部に腫物を生じ早川軍醫正主治醫宮谷博士治療の下に去る二十六日より自宅に引籠中なり

人事消息

▲國分三亥氏(司法部長官) 司法官會議列席の爲め廿九日午前東上
▲小城齊氏(鐵道局庶務課長) 廿九日夜東京赴任の途に就く
▲佐藤少將(鎭海灣要塞司令官) 二十八日入京(巴城館へ)
▲中倉中尉(旅順分隊長) 二十九日旅順へ歸任

◎大阪より

▲月末金融平穩 當地金融界は漸次月末に接近したるに拘はらず目立ちたる資金の需要を喚起せざる爲め依然平穩の狀態を持續し居れるが其後東京方面は當地への資金流出甚しき近時一般資金需要者は成るべく金利低き東京に於て資金を調達する傾向となりたると相俟つて一時コール日步四厘五毛を唱へ居たるも月末に連れ今や東京に於ける協定外コール七厘見當まで昂騰したるに拘はらず些も其影響なく當地市中金利は依然コール無條件七厘月越八厘紡績手形割引九厘乃至九厘五毛を唱へ保合の姿なるが本月末の各種決濟資金は市中銀行何れも日本銀行への預金を以て之れに振向けんとしつゝある爲め日銀支店預金高が月末に近づくに從ひ減少の傾向ある以外には當地金融は何等變化なく平穩の狀態にして越月するならんと

▲大阪毛斯成績 大阪毛斯綸の本季決算額は本月末日なるを以て收支上の大體は先づ判明せしと同時に其成績に依りて決算を豫想するに會社の製品は一時多少の堆積を見しも之れ等は概して前季中に消化されしのみならず比較的騰價の原料羊毛其他を貯藏せしことゝて彼の英國におけるトップの輸出禁止も經營上格別の影響を被らず然も製品の市價は頃日に至り向上の趨勢に促され且つ停滯の虞も無き由にて旁利益多く配當は年一割方の見當なるべしと

▲豆粕製油發起 今回帝國製油の名稱の下に製油其他の企業を發起せるが右は滿洲移入の豆粕及び豆板等バラ粕と稱するものを原料として製油の外化學の應用を以て別にグリスリン並に脂肪酸等をも製造すべき山田某氏の發明特許權を買收し此れを資本六十萬圓の會社として經營するものなるが目下右移入の豆粕數量は約三千萬圓の年額に達し居れるを以て原料には缺乏を訴ふるなからん

▲煉瓦の再値上 近來一般工業の進展に伴ひ煉瓦の需要著しく增加せる一面には其の製造工賃の向上其他に促され從て府下の現在煉瓦同業者たる大阪、堺、岸和田、日本、津守、丹治は協議の末製品一千個に對して一圓の値上げを實行したるも尚ほ今回更に第二回値上げとして再び前同額を協定し是れにて前後二圓の値上げを見るに至りたりと(大阪通信)

南北言語

英支同盟說も鳥渡北京のジョルダン氏が袁總統の袖を引いて見たのが大袈裟になつたらしい元來神經が過敏だと尾花も幽靈に見えるからナア▲其れでも支那では帝政を食付て何とか問題にしようとして居る連中があるから危ないく▲支那には外人の顧問となつて居る者が三千九百七十二人ある國別にして見ると▲英人が千百七人獨人が四百三十五人佛人が千零二十人露人が五百六十四人伊人が七十四人白人が百七十三人墺人が七十九人米人が百七十四人で日本人は二百七十八人其他千百五十七人居る▲其れが皆國々の爲めに政治運動をやるから袁總統も負をして仕事をするから帝政論なども聯か勝負の切れまい的觀がある▲所變れば品變る浪波の葦も伊勢の濱荻だが所變れば人も變ると見えて明治三十七年旅順で宴會最中に日本海軍の御見舞を受けて散々な目に遇つて逃げて歸つた時の露西亞極東太守のアレキシエーフ閣下は▲今度露國の新參謀長となつて武勳赫々たりと云ふ處で佛國から名譽大十字章を授與されたと云ふ▲日露戰爭で有名であつたレンネンカンプ將軍は最初北方露軍司令官として一時は東普へ迄侵入したが今は何處かに押し込められて居る▲カンプ將軍大に今昔の感に堪へぬのだらう▲今日は帝國議會の召集日だ減債基金や八四艦隊が罷つて居るのだらう▲首相隈伯まだ足搔れが全快せず開院式には或は參列が出來まいと云ふ氣の毒な事だが開會劈頭の議論は相變らず盛だらう▲盛と云へば今次の議會も前景氣は大分盛んな樣ながイザ開幕となると何うかナア▲佛國邊の議會には議員中に武裝した代議士が何時も五六名混じて居ると云ふ戰爭したり議會へ出たり之れが眞實の戰國だらうが其れから見ると日本なぞは有り難いもんだ

大町桂月先生主筆

學生 十二月號 大禮画報

森嚴崇重なる曠古の大禮 到底筆舌の盡すべき所に非ず乃ち本誌は繪畫寫眞に之を語らしめたり
▲口繪 神武御即位(三色版) 崇高なる額面用
▲午後三時卅分は大町主筆入神の大傑作
▲芳賀博士の拜觀記 參列して式場に實地拜觀せる感想
▲畫報の主なる者は ▼陛下御影▼紫宸殿▼春興殿▼御帳臺▼承明門日華門▼東宮殿下▼各國使臣▼八百八街の賑ひ▼大嘗宮 [illegible]
大嘗宮▼五節舞▼御羽車進行▼京都の雨▼御即位式▼高御座 [illegible]
▼今昔 ▼奉送 ▼御發輦 ▼萬歲聲 ▼大禮の感想 [illegible]
定價 一部金三錢 [illegible]
東京神田 冨山房 振替東京五〇一一番

輪界の覇王

輪界覇王 ハンバー號自轉車

精良無比の自轉車を求めんと欲せば彼れ是れと其撰擇に迷ふ事なく直ちに左の三車に一決せられよ

◎實用的模範車として使用最も峻烈を極めたる郵便局電信配達用として納品の光榮を浴しつゝある―

實用的模範車 リアル號自轉車

◎名聲嘖々として構造の堅牢車體の輕快他に比類なき自轉車を求めんとせる方は其眞價値を表明しある―

◎輕快堅牢精巧 確實にして實用家より多大の信用と名聲を得常に異彩を放ちつゝあるは―

實用大王 ノートン號自轉車

京城永樂町二丁目(電話一五七番 振替口座京城二七九番)
合資會社 橋本商會出張所
神戶

初版賣切れ再版大增補發賣

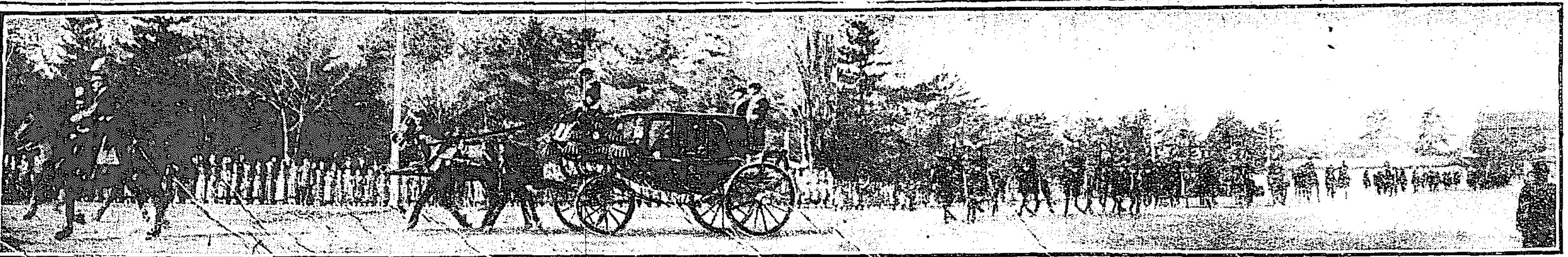
朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著 定價金八拾錢(郵税六錢)

朝鮮語會話

◎袖珍總クロース四百頁頗美本
◎受驗者必携の好資料

江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や初版壹萬部を賣盡して尚要求盛んなるに付改訂大增補を行ひ再版を發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最も親切なる解說者たり是非共一本を机上に供へられよ

發行所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆



鹵簿肅々 泉山陵行幸(廿六日)

歐米人の朝鮮見物
の便宜を計り哈爾賓に案内所設置
大に東洋漫遊客を招致せん

トーマスクック社の東洋總支配人ブランチ氏は朝鮮經由横濱に向ふ途次朝鮮ホテルに滯在中語つて曰く私は七年程前と四年前と今度で都合三回來たが朝鮮の凡ての事物の變化は驚くばかりで前に來た當時に較べると著しく

■面目を改めて ゐる、深く視察したわけでもないから一々例を擧げていふ事はできないが新政施行後に於ける朝鮮人の幸福は隨時に見る事ができた、日本内地と朝鮮とは僅の海を隔てゝ居る丈であるがその風光習俗が著しく異つて居つて朝鮮人の冠つてゐる帽子一つにも

■旅人の好奇心 をそゝることが出來る、又支那は常に騷亂絶えず匪賊の出沒するを恐れて危ぶむ人もあるが足一たび此の地に入れば吾々の世界に於いて容易に見られない千古不滅の物象に接す事が出來る、今後北支旅行者は益々増してくる事だらうと思ふ、東洋中如何にして日本朝鮮の觀光客若くば旅行者のために

■便宜を與へる かといふ事は未だ戰亂酣なる今日纒つた考へを持つてゐないが歐羅巴に赴く者は朝鮮滿洲を經て北京より上海に出づるがよく歐羅巴より來る者は浦鹽から汽船によるより朝鮮滿洲を經て日本に至る方がその途中の景情風物すべてに趣味があるのである、併し何よりも不便を感じてゐたのは

■哈爾賓接續の 際に於いて案内の露人の多くが英語を解せぬ事、又同地には無頼漢が多く旅行者の旅馴れぬのに附入つて不當の要求を爲すをである、これは自分が今度通つて來た經驗によつて痛切に感じたのであつた、滿鮮に於ける鐵道その他の設備の整うて居る事を知らぬ旅行者を誘致するには案内所を設ける必要のあるを思ひ同地より横濱香港に打電して今年内に是非事務所を開設すべき事を命じて置いたが京城滯在中に人選も終つたのでその主任たるべき人はいづれ近く朝鮮滿洲を經由しその事情を視察しながら

■赴任する事で あらう、案内所開設と同時に鮮滿旅行者の増加する事は想像するに難くないだらう、クック社では是まで一般の日本觀光客にはホテルキユーポンを發行して觀光客の便宜を圖つてゐたが近頃鮮滿或は内地の至る所に

■ホテルの設備 か完全になつて來た情態から考へて目下歐羅巴大陸に於いては已に實施されつゝある獨立觀光券なるものを發行してホテルに宿泊せる觀光客の觀光に要する一切の費用はホテルに於いて支辨し且つ

■一切の面倒を 見る事にする、これは頗る便利な事なので一般旅行者にとつて大なる福音とも謂ふべきであらうと思ふ、クツク社は英國の會社でこれを利用するのは英國人が多いのが當然であるが事實は亞米利加人と數に於いては大差なく會社として何國人と言はず

■厚薄を附する 樣な事はない、戰爭も終り平和に復した曉は滿鮮の旅行者は増加するに違ひないと思ふ

靖國丸乘員に發砲
西班牙兵日本水夫を捕縛す

靖國丸が地中海にて沈沒せる後ちモロッコのメリラに上陸せる四名の日本水夫は西班牙兵の爲めに發砲され一名負傷し他も亦總て捕縛され今尚ほ拘禁中にて自由を許さず西班牙駐劄日本公使は目下釋放方に付き交渉中なり(倫敦電報)

上海革命黨員の密計
佛國租界内にて一部の就縛

國體變更に反對する革命黨等が上海にて暗々裡に何事か畫策し居れりとの風說は盛んに傳へられ居れるが佛租界に於ては革命黨員等が同租界内に於て加担者を募集し檄文を配布し居れるの密告を得廿四日早朝同租界内に集合中なる同租界慢自道路傍の一家を襲ひ四十七人を捕へ同時に赤色の印を捺したる白布の標章を押收したり彼等の云ふ所によれば其の首領は湖南より來れる前將校にて虹口、閘北にも同樣の機關を有せりと尚佛租界官憲は二十四日爆裂彈の包みを持ちて通行しつゝある一支那人を捕へたるが數日前も爆彈一個を發見したり(上海特電)

爆彈騷ぎ
上海の日本居留地

二十五日午前十一時頃上海共同居留地に住居する日本長崎生れ時計修繕業大谷秀吉(三四)の住所にて製造中の爆彈一個俄然爆發し大谷は顔面其他に重傷を負ひたり既に造り上げし爆彈二十數個は警察の手に押收せられたるが詳細の事情は同人退院の後ならざれば判明せず(上海特電)

巴里の藝術の此頃の寂しさ
森田畫伯歸朝談

最近歸朝の洋畫家森田恒友氏は巴里の近狀に付きて語つて曰く『自分が巴里に行たのは昨年の四月であつた當時は日本畫家小說家等も可成り多く集つてゐたが開戰以來一時は非常な動搖が佛蘭西全國に起ると共に同國の藝術界にも尠からざる影響を及ぼした、我々仲間も大使からの命令で一時巴里を立退く事に爲つて其一部は英國に渡り一部は

▽佛い田舍に赴い てゐたが其後巴里の安全が保たれたとの報を得て再び引返して行くことが出來た併し其集つた數は以前の半數にも滿たなかつた自分は倫敦の方へ避けてゐたが矢張り引返した一人であつた、引返して見ると其當座は開戰前の巴里に比べては哀れな程物淋しくた暗い都會と化して世界流行の魁をなしつゝある花の巷と想へば驚くべきものであつたがそれも時の經つにつれて日を重ねると共に次第々々に何時とはなしに

▽花の都は舊に復しつゝ あつた目下の所では我々の目から見てさう大した荒廢の都とも見えないし寂寥暗愁を帶びた戰の國の都と言ふ氣持はしない、如何にも若い男は少い樣だが他國へ傳へられてゐるやうに女が勞働に從事するとか自動車の運轉迄すると云ふのは全く見かけなかつた、汽車や電車の改札と云ふやうな仕事に女が從つて居るのは事實だが表面然う際立つて男子の仕事が女子に代り移つたと云ふやうにも見受けない、けれど一般婦人社會の流行等が戰爭以前に比べて

▽著るしく質素に なつた事は事實で色彩が一體に沈んでゐるし殊に喪服を纒つた女の多いのは常の巴里と異つて聊さ云ふ事を著しく感せられてゐる目下畫の方面に於ては何分若い新しい畫家達は多く出征して祖國の爲めに筆を折り劍をとりつゝあるから其等の人々に依つて新らしい畫の說を聞き其傾向を窺ふ事は出來ないが學校は皆授業をしてゐるから我々が研究に不自由を感ずるやうな事はない併し巴里の部の重大な行事であるところの世界藝術界の注意を集めつゝある展覽會の開かれない爲め今秋も巴里の

▽畫壇は頗る寂しい事で あらうと思ふ、正宗得三郎君や足立君や、山本鼎君其他四五人の畫家は彼地に殘つてゐるし高村眞夫君なども未だに留まつてゐる、佛蘭西の畫壇が戰爭の爲めに新らしいものを生み出したとか其中心に動搖を生じたと云ふやうな事も見えない世人の云ふ如く英の方面は一帶に健質な畫風で佛の方面は常に新らしい流行を生みつゝ進んで行くとは自分達に少しも受取れなかつた文壇の人では島崎藤村氏が留つてゐるが、以前の宿へ再び戻つて創作の筆を續けられてゐるやうである(大阪支局)

監獄から出て又逆戻り
同房囚人の妻女を電報にて詐欺

福井縣今立郡北新庄村當時住所不定無職加藤泰作(三三)は文書僞造及詐欺に依り前科二犯の者なる所本月十五日京城監獄永登浦分監より滿期釋放となり直ちに京城に入込むや同日午後三時過南大門郵便局より永登浦分監在監中なる赤野安五郎の名義を騙り安五郎内緣の妻福岡縣門司市羽衣町岩永でんへ宛て『イマデタ五〇デンキヨクマチオクレ』と云ふ電報を發したる打電後直に京城郵便局より永登浦在監人久保永吉の名義にて同人の妻なる咸北淸津大和町久保しめへ宛て同樣の電報を發し送金を求めたるも何れも送金なきのみならず何等返電なかりしより其目的を遂げざりし尚同月十六日午後六時半頃南大門停車場に於て待合室の腰掛けに置きありたる忠南舒川郡馬山面冠浦里金聖烈所有なる黑色メルトンマント一枚(價十七圓)及雜品在中の風呂敷包一個(價十圓二十七錢)を竊取したる上風呂敷包の在中品は同日南大門共同便所内に投棄しマントは之を著用し居り更に同月十七日午後七時過頃南大門停車場三等待合室にて被害者不明なる者の衣類雜品在中の信玄袋一個を竊取し其内縞入羽織各一枚外五點は同夜明治町質屋宮永方にて一圓にて入質し信玄袋外二點は十八日北米倉町古物商三井方に二十錢にて賣飛ばし尚十八日午前八時頃にも南大門驛二等待合室にて南山町京城ホテル滯在中の本多某の隙を窺ひベンチに置き在りたる同人所有の虎斑模樣前掛毛布二枚を窃取し即日太平町二丁目質屋三浦方に金十圓にて入質し八圓餘は衣類を買求め他は雜費に消費したる所を本町署の手に逮捕せられ又々逆戾りとなる因に前記被害品の内信玄袋の所有主は本町署に就て照合すべし

老婦人石にて慘殺さる
多島海莞島椿事

全羅南道莞島郡所安面雜貨商松山ひで(五四)は去る廿三日夜午前三時頃何者にか慘殺されたるが石を以て散々殴り付けられしものと見え顔、頭の區別なく滅茶々々に碎け鮮血迸りを染めて頗る酸鼻を極め居たる由犯人は未だ縛に就かざるも同人は寡婦にして小金を所持し居たりと云へば多分此の間の事情を知れる強盜の所爲なるべく其筋にては目下極力嚴探中

あはや大事に
若草町の炬燵火

二十八日午後九時五十分頃京城若草町四十一番地伊佐たか方より出火し大事に至らんとせるを附近の者發見し直ちに消止む原因は同人八時頃同人は炬燵を蒲團に容れたる儘外出したるに先づ蒲團焦げ初め其れより火移りたるものにて蒲團二枚疊三枚を燒失したるのみ損害額十四圓

櫻井小學校に猩紅熱發生
一週間の休業

京城花園町百二十七番地櫻井小學校生徒二年生一組森田傳七(八)は二十八日檢診の結果猩紅熱と判明し早速順化院に入院加療中なるが學校にては同日大消毒を行ひ同組生は向ふ一週間休業したり

長春の酷寒
降雪紛々たり

長春地方は二十七日俄然氣溫降り最低氣溫零度以下十九度八分風四十米突加へて降雪紛々たり本年始めての寒氣なり(長春特電)

鐘路通の小火

二十八日午前五時十五分頃京城鐘路三丁目百四十七番地沈大和方より出火したるより鐘路消防所其他より出動直ちに消止む原因は油を煮沸しゐたるものに炊火移りたるものにて損害輕微

露艦釜山拔錨

釜山に入港せし露國練習艦オレル號は二十七日午後拔錨長崎に向へり

風邪が流行る
發汗療法がよい

これからの朝鮮の冬は三寒四溫の溫度の差で風邪を引く人が却々多いやうです

△風邪にも種々 あつて咽喉の病氣、頭痛、熱の出る病氣、咳の酷い氣管支加答兒、質扶的里に似た扁桃腺炎、頭の片方の痛む偏頭痛等の狀態も亦普通人には風邪と思はれやすい此等の豫防法は第一に氣候の變化の烈しい時空氣の醋い動搖を避け身體の丈夫な人は平常から進んで氣候に負けない良い習慣を附ける事です。

△襟卷は咽喉を 急に溫めたり、冷やしたりするため除り可くない子供ならば身體を害はぬ程度の薄著に慣れさせる方がよろしい。冷水摩擦は皮膚を鍛錬するので續けてすれば皮膚に抵抗力が出來ます。また薄い鹽水を鼻から入れて咽喉へ出したりする、これも子供には不適當ですが大人には可からうと思ふ。いつでも呼吸は口でせず鼻でする樣にすれば確かに

△好い豫防法 となります。湯かい部屋に居て急に冷い戶外に出るのは不可ません、次に治療法は昔から發汗療法と云つて汗を出せば癒ると信じられてゐる是は確に一面の眞理で醫者でもこれは應用してゐます、汗を出す爲には冷水を飲むでも溫まるのもいゝでせうが熱のある時は可成寢るか或は部屋の中に靜かにゐて貰ひたい。

△咽喉の痛い 場合には熱がなければ冷水で濕布をし、熱があれば溫かい湯に浸して固く絞つて濕布をしたり度々鹽水か硼酸水かで嗽をする事が一等です。頭の痛い場合は直ぐ冷やしますが熱のない時は溫い濕布か蒟蒻を煮て布で包んで頭に當てゝゐるとよくなります。水鼻の酷く出る場合にはガーゼか手布を一寸四分位に折て湯につけて絞り鼻の上に乘せて度々溫めるとよろしい眉間の痛むのは骨の上顎竇と云ふ穴へ病氣の傳はつた爲である事が多く、此の場合には充分注意をして眉間を冷やして靜かに寢させる樣になさい。(某醫學士談)

⊙滿鐵に機關車注文

關六輛の注文を申込み來り目下沙河口工場に於て建造準備中にて來年四

金六七三圓其他金縁眼鏡等合計百三十圓を竊取し向十月二十日頃安成郡

一時より京城總督府醫院前より本町線を經て黃金町通太平通を經て蓬萊

し竟りたるに前記遺失の品を拾得し早速所轄本町署に屆出でたるに

天氣 は

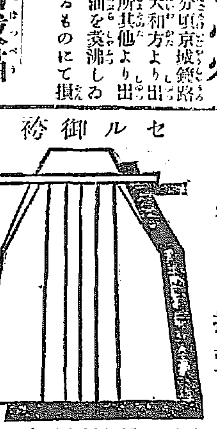
▲北又西の風晴 十一月三十日

日出 七時廿七分 日沒 五時十六分

セル御袴

法外なる投賣

御買求の好期



新セル袴 一圓八十錢
本毛セル袴 六圓五十錢(送料十錢)

歐洲戰亂輸入杜絶を見越し多數の輸入持品精算之上大安賣を爲す御注文は端書で御申越なれば引替小包で御送申候寸法は普通紐下二尺二寸位なれば共好又は寸法縞柄のあらい細い御好御年頃等も可成詳細御申越被下候ば最も適當の品御送り致し御氣に召さぬ時は御取替申上候

東京芝區廣町二十七番地
總督府制服帽劍 洋服附屬品靴商
フジヤ
振替東京二八九一六

嶄然頭角を拔く雜誌界の麒麟兒

雜誌 日本一 出來

△汽車時間表 附錄は旅行案内代用として好評嘖々
日露同盟論 (露國要路の二名士より本誌への寄稿)
△御即位大典記 田中北社長
△理想的少年店員 中野武營 顧問
△現代社交論 日本一評議員 浮田博士
銅山王 古河系統 矢野浪
△袁總統の危機 高橋主幹
△武士道的處世論 福來博士
■溫泉投票 第二回發表
△姓名判斷化の皮 幸田博士
△炯眼論 內閣總理大臣 大隈伯爵
△日本一の世界一人物 丸山博士
大正探偵小說 海賊宰相
△信州氣質 山路愛山
◎講談小說 落語・浪花節 滿載
△ポンチ 北澤樂天
懸賞 ネロ大帝
日本一主筆文學士 小野秀雄
定價僅に拾錢送料一錢五厘 ◎半年分送料共六十四錢一年分送料共一圓廿錢 ◎郵券代用五分增 ▲東京牛込▽南北社發行 ▲振替東京一九四番

消火器

■消火器の御用意は よろしく御座候哉

□二圓より十五圓まで各種取揃へ居候間御買上げ願上候

■製造發賣元

京城本町二丁目

熊平支店

電話六二四番・振替京城三二二番

比較は最良の撰擇法なり

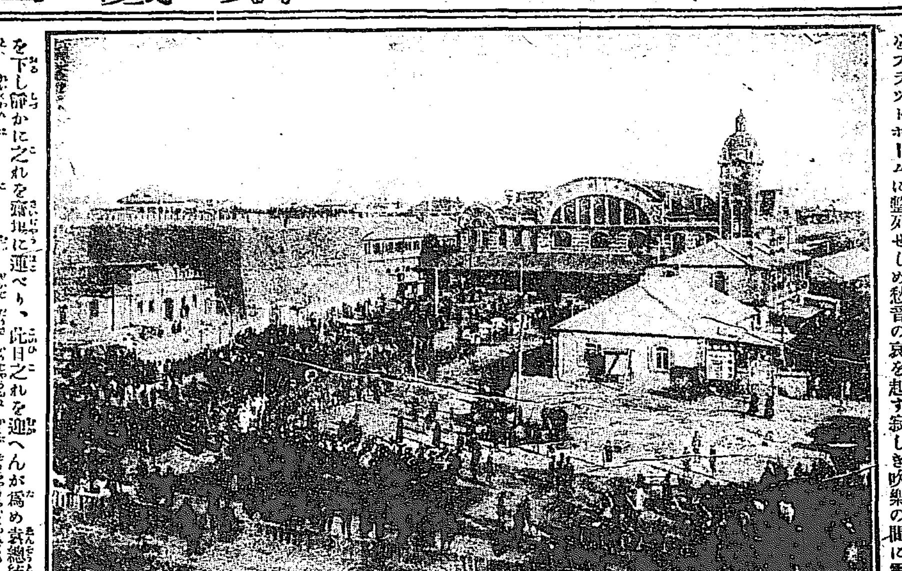
サクラ正宗

サクラ正宗

京城明治町一丁目

山邑京城支店

電話八四九番 振替京城五七番



鄭侯靈柩の著京

狂暴なる革黨の爲に非業なる死を遂げたる故上海鎭守使一等侯爵鄭汝成氏の靈柩は京奉鐵道に依り北京に送られ二十六日午後一時四十分到着せり支那政府は特に儀仗兵及び樂隊をプラットホームに整列せしめ愁音の哀を起す寂しき吹樂の間に靈柩を下し靜かに之れを齋場に運べり、此日之れを迎へんが爲め袁總統は特に禮官を派して之れを迎へ政事堂左右丞及び各部總長等衣冠雲の如くさしもに廣き停車場は耶馬を以て塡まれり寫眞は即ち靈柩が停車場より正に齋場に進まんとせるの光景なり（北京特信）

◉奉天情信

警官侮辱交渉＝國議複選資格＝支那顧問數＝奉天市況

▲警官侮辱交渉　二十六日に於ける奉天城内の我警察官侮辱事件に關し矢田領事は同夜總領事館にて馬交渉員と共に關係日支官憲を會同して事實を聽取せるが暴行者の二十七師兵なりといふには反對せしも暴行の事實は支那官憲も認めたるが如しと右に就き矢田領事は二十八日段上將軍と會見し四箇條の要求を提出するやに聞けるが内容は不明なり

▲張氏直隷赴任　前鎭安上將軍張錫鑾氏彌々直隷將軍に決定不日發表せらるゝに決定せしを以て其召電に接し舊部下たりし前將軍行署總統劉景元管帶官杜培森二氏は二十六日午前十時發天津に向へり

▲國議複選資格　國民會議覆選擧投票は二十日に執行の筈なりしが延期となり居れるも近く擧行すると見え今回北京政府より段奉天巡按使宛資格者を前清官吏又は資產三萬元以上と制限し來れり右に就き奉天にては所要の調査中なり

▲滿蒙三埠開放　支那政府は曩に滿蒙七商埠の開放を宣言しながら中僅に龍口を開放し十一月一日より稅關を設置したるのみなるが洮南、張家口、綏遠の三地點の蒙古商務と大に關係あるを近頃感悟したるを以て明年春期を以て之を開放するに決したるやにて今回其の準備に關し奉天巡按使及び綏遠、察哈爾都統に通牒したり

▲支那外人顧問　北京政府が最近の調査によれば全支那の外人顧問數は總計三千九百七十二人にして内譯は左の如し
▲英人千百七人▲佛人千〇二人▲獨人五百三十五人▲露人四百六十四人▲日人二百七人▲米人百七十三人▲墺人七十九人▲白人七十七人▲伊人七十四人▲其他百五十七人

▲奉天中旬市況　十一月中旬に於ける奉天の市況を見るに元來ならば昨今は日一日と活氣を呈せざるべからざるに今旬は前旬に比し却て稍不振の氣味なりき特產物出廻りも前旬に比しては至て僅少にして大豆二千百石高粱二千百二十石粟三百石に過ぎず手合も至つて僅少なりき又輸入方面を見るに小洋錢は日々騰貴の報を傳へ前旬々初の頭と比して既に二元方の上押を見たるも尚ほ强の爲めか輸入品には未だ左までの好況を齎らすに至らず市況兎角沈み勝なりき綿布類の如きは多物需要期の事とて當然相當の賣行を見るべき筈なるに前月上中旬の反動か又相場漸落の關係に依りてか取引思はしからず麥粉は原料高にして製造手控の爲め入荷少なく是亦商況不味砂糖は前旬同様商況普通メリヤス類其他の諸雜貨は玆許一服の姿にて燐寸紙類のみは好調なりき即ち燐寸は相場益々高値を告げ在荷薄紙類も亦需要盛んにして在荷の停滯更になし此外一般輸入品に在りても大體賣行面白からざりき

◉優良牛保護に就いて

釜山牛皮商某氏談

歐洲戰亂勃發以來露國より軍需品の注文頻々たりしが就中靴の注文は一時内鮮兩地の製靴業者が此れに應じ能はざりし程の多額に上りたりしが從つて生牛の屠殺數は空前の多數に達し爲めに經濟界の危機を救濟するに足るの觀ありたりしが其の反動として價格の騰貴に誘はれて濫殺濫賣するの傾向を呈し來れり現に西鮮地方の如きは昨今屠殺盛んに行はれつゝ有るを以て生肉過剩を來し上肉七八錢に下落し居れりとの事なるが南鮮地方に於ても斯く迄には甚しからずと雖も生牛の屠殺は數年間の屠殺數に匹敵するの盛況を呈し居れりと如斯

■生牛の輸移出は戰爭の打擊より蒙りたる金融界を霑潤し得たりと雖も其結果南鮮牛の如き優良種の減殺を來して品質の退化、耕牛の能率低減は免れ難かる可く一般に將來ある朝鮮牛の爲めに深甚の憂慮を拂ひつゝ有り由來朝鮮牛は溫良にして體力旁でたるを以て廣潤にして人口稀薄なる朝鮮に於ては唯一の耕農補助機關として貴重せられつゝ有るを以て若し現下の如き趨勢に委して何等の取締策を講ぜざるに於ては如何に當局が種牡牛貸與等の方法に依つて改良に熱中すると雖も何等效果無きに至らん當局者は宜しく朝鮮牛改良上及び農業保護の爲め生牛濫賣を防ぎ優良種の保護に努む可きなりと

◉繰綿賣行不良

棉價尻下りの爲め木浦三棉業會社は甚だしく恐慌を來し居る由は既報したるが其後の入電に依れば相變らず下押の氣味にて前途測り知るべからざる狀態中なり非鮮の發高く再び陳情する所あらんとし目下關係各驛有志者間に於て協議中なり

す既に大阪に送致したる繰棉も是等の爲め未だ商談纏らず會社側は益々苦惱中なるが如し尚廿六日調査當地三會社及光州榮山浦の合計繰棉高は百六十二萬五千六百四十斤也（木浦）

◉六萬圓の寄附

南浦中村精七郎氏より新に教育機關設置の爲め金六萬圓（屢報五萬圓を增加）の寄附を申出でしに付鎭南浦府にては一件書類及び府尹の意見書を添へ數日前道廳に進達したるが其の出金方法は大正五年六月一萬五千圓十二月同六年六月同額十二月同額都合六萬圓なり

◉鹽鰊代用奬勵

平南の鹽鰊輸入額は年々七八萬圓の巨額に上れるが是れ主として同品が他の鹽藏品に比し價格低廉なるに歸因すべく之れが防遏の途固より多岐多様なるべきも自然の趨勢を抑制して一時に排せんとするは弊害尠からず又實際に於て行ひ得べきに非ざるを以て先づ其の代用品の產出を圖るの目的を以て平南にては水產五年計畫の一として鯖、大刀魚、石首魚、鰮等の漁業に付き從來の漁具漁法に改良を加へ明年度より恩賜金及び地方費を以て漁業の奬勵製造の試驗及び講習等を沿海樞要の地に開始し以て代用鹽魚の產出增加に努むべしと

◉優良大豆の成績　平南道

種苗場生產の大豆優良種（平壤、北海道、石起）は本年江西、江東、順川、孟山の各郡に配付したるに其の成績は反當收量平壤七斗八升四合、北海道六斗九升四合石起七斗二升三合を示し江西廿三箇所江東廿七箇所順川廿三箇所孟山郡の栽培箇所に依る平均を以て以上各郡に於ける播種期收穫期一反當收量を査するに左の如し

	播種期	收穫期	反當收量
江西	四、二〇	一〇、六	〇、六五七
江東	五、一九	九、二七	〇、八五〇
順川	五、一〇	一〇、一一	〇、九三三
孟山	五、一四	一〇、一六	〇、六四七

◉水口氏出發

總督府度支部稅務課に轉勤を命ぜられたる水口隆三氏は二十八日午後一時の列車にて出發赴任す官民の見送頗る多し

◉列車時間改正

曩に木浦會議所より請願したるに對し許容せざりし關係あれど正午及び午後四時發著列車は共進會期中毎日運轉なりしに本月一日以降再び隔日に改められ頗に不便となれるのみならず目下棉花米穀の出荷期に際することゝて松汀里以南各驛の打擊尠なからず如何に營業本位とは云へ松汀里以南僅か四十四哩間の運轉を隔日に節約し沿道多數民の不便を犧牲とし其開發を顧慮せざる態あるは遺憾なりとて非難の聲高く再び陳情する所あらんとし目下關係各驛有志者間に於て協議中なり

商況

公債直取引（東京特電）

廿七日出來値段（前日との比較）

	値段	比較
五分利特別	九九、二〇	―
一分甲號	八二、一〇	―
四分	八一、三〇	―
二分五分	九八、三〇	―

大阪株式特電

銘柄	拂込	前日後場止値	廿五日前場
宇治川水電	[illegible]	―	[illegible]
神戸電鐵	[illegible]	―	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	―	[illegible]
和泉山	[illegible]	―	[illegible]
台灣製糖	[illegible]	―	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	―	[illegible]
同新株	[illegible]	―	[illegible]
東洋汽船	[illegible]	―	[illegible]
大阪商船	[illegible]	―	[illegible]
日本郵船	[illegible]	―	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	―	[illegible]
東京新株	[illegible]	―	[illegible]
大阪株式	[illegible]	―	[illegible]

大阪三品特電

▲廿六日後場

	寄付	大引
十一月限	一一九、九〇	一二〇、三〇
十二月限	一二〇、八〇	一二〇、五〇
一月限	一二一、六〇	一二一、三〇
二月限	一二二、七〇	一二二、五〇
三月限	一二四、〇〇	一二三、九〇
四月限	一二五、〇〇	一二四、八〇

大阪期米特電

▲二十九日前場

當限寄付	一四、一一
中限寄付	一四、二九
先限寄付	一四、八四

め止

下關期米特電

▲二十九日前場（昨夜限到今商）

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲當限受渡石數七千三百石値段十三圓三十三錢

▲新甫二月限は標準米に位古米格下の關係より六七十錢上鞘なり

雜報

◉鮮米と評價

廿八日深川正米問屋組合の各役員會合の上評價せる二十七種の鮮米は最高級十一圓三十七錢、最低級（價十圓十錢）と決定せり右に就き同組合にて國内米並に鮮米との比較等を研究したる結果十二錢引きと評定したる由なるが鮮米は大阪東京兩市場の新標準米に比して尚ほ不適當と爲し近く東京市場にても改めて新標準米として鮮米を除外することゝなりたり

◉同米排斥相違

東京市場に於ける米商中一部の者が鮮米を除外したる事は從來未定格に置きたるが同米排斥に非ざれば其等の位置は以て一位の標準米は以て鮮米に付せられたるものにて之に對し非難同業者間にあり

◉蒟蒻粉の反動安

新粉の出廻りにて一時供給不足を告げたるも昨今に至りて漸く物資豐富となり一般に生産地よりの要求昂まり爲に先安を唱へ目下の状況は急天直下なり

◉十圓方の暴落促進

蒟蒻粉の値段に就ては昨今新粉の出廻り旺盛なるが如く産地よりは安値を呼びつゝあり當地は需要も少なく一般に十圓方の暴落を見るに至れり

◉糯益々拂底

に鮮内地との關係にて大阪市場の如きは旺盛なる買氣益々盛んにして昨今の相場は一石二十圓方の高値を示し居れり

◉旺盛なる買氣益々

◉上物二十錢十九錢

◉粉米の其後

一時不引合ひなりし大阪よりの買進み再び現れ古米粉米の出廻りも漸く增加の見込なり

京城正米

品名	値段
同當用	十三圓九十錢
同一等白米	十三圓八十錢
同二等白米當用	十三圓七十錢
同一等白米當用	十三圓六十錢
同二等白米	十四圓
南川大豆	九圓二十五錢
長湍大豆上品	八圓六十錢
價鎭大豆	八圓八十五錢
永洞大豆	八圓九十錢
元山大豆上品	九圓五十錢

◉上向一方

米價は一時は景況を示し期米の堅調に伴ひ四十八圓五十錢高の勢を示し人氣は更に向上の傾向なり

◉約三十五錢

此頃内地正米高に伴ひ京城正米は近來稀なる高値を現はし來り約三十五錢方の騰貴を見たり

南大門の廻米

二十八日分

品名	數量
烏山白米	三〇叺
烏山玄米	四六叺
烏山白米	三八叺
烏山玄米	六〇叺
烏山白米	四八叺
烏山玄米	五五叺
天安胡麻	五四叺
金村白米	三四叺
天安白米	一〇四叺
水原白米	三七叺
水原玄米	一八四叺
烏山玄米	三〇叺
烏山大豆	一四叺
長湍大豆	三〇叺
成歡白米	二〇叺
水原玄米	四叺
成歡白米	一九八叺
汶山白米	三〇叺

二十九日分

品名	數量
平澤白米	九四叺
成歡白米	四叺
長湍白米	九一叺
汶山白米	三叺

顧客本位正確迅速 仁川米豆取引所仲買人 ビキサン 三仲買店 電話五三三番

市場零聞

▲前場の大激戰

[illegible]

▲當限落後と新甫

當限は小康を保ちたる期米は前日に比し新甫に對する人氣を暗示したるものにて二十四圓の上放に寄付高値十圓十六錢と打ちたるものにして近來稀なる活躍を演じたり

▲前場爆發す

上寄れと正米高と相俟つて十圓〇十一錢丁度と漸く活躍したり

▲正米界の大活況

市況は期米の如く伸び圓みの反動と期待に耐へず正米高は益々人氣を刺戟したり

△當限納會す

當限本日十圓四十錢を以て受渡し高七千五百石にして受渡値段十圓二十錢

田中金六商店 仁川米豆取引所仲買人 電話一五八番

仁川米豆取引所

廿九日の一月限

寄附	十圓三十錢
前場	十圓十錢
一節	十圓〆一錢
二節	十圓〆三錢
三節	十圓〆五錢
四節	十圓〆
五節	十圓十三錢

平均値段

	出來高	値比較
十一月限	七千五百石	
十二月限	二萬百五十石	
一月限	三萬四千二百五十石	

出來

廿六日	九九七五
廿七日	九七一
廿八日	九八九
前日比較	二四高

小賣白米

	一升に付	
上白米	五斗入	十三錢
次白米	同	十二錢五厘
中白	五斗入	六圓三十錢

吉 海岸通 吉村仲買店 電話一四〇番

仁川現物市場

二十八日

品名	數量
小井里白米	三〇叺
小井里白米	一三叺
秋風嶺白米	二六叺
水原白米	一九叺
水原白米	二二一叺
一山白米	一七叺
汶山精穀	一九叺
平澤白米	四〇叺
軍浦場白米	二九叺

籾入荷約四百五百俵、二十八日地方米正米中括十圓六十錢、本道米十圓二十錢

仁川期米

▲二十九日前場二十錢高

▲爆發したる期米

▲遂に十六錢

[illegible]

△掉尾の活躍

前場の活躍は久しく伸び悩み居りたる期米に人氣を集め掉尾の活躍を演じたり

高値商談行はれ大暴騰を演出し掉尾の活躍

四五十錢

◉三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町二丁目 電話長三三六番

北濱だより

△砂糖株有望

砂糖株は早くから買上げられて居たが利益の貨物もあるので伸び悩れて居るが本年は甜菜の豊作で好況を呈するに至らう

△宇治電の昇騰

二百圓の水量增加の認可を得たならば設備を改良せば利益が增進して近く一割の配當も敢てなし得べく叉大電との合併も實現の期が早まる

◉米沖着の十一圓三十錢

みを以つて値段は取引されつゝあり

◉籾は益々强硬

出廻り減さ正米の好況により次第に相場の昇進を促がしつゝあり昨今に於ては

◉日本種の二在來

日本種斤建の二十八圓在來種に引締め模様なり

◉地場精白漸騰

地場精白米は原料高と内地注文に連れて漸騰を示し今日に至れり

◉普通相場十一圓五十錢

◉白米注文續出

白米の移出は內地正米高に伴ひ買物續々絶えず最近入沖の十一圓五十錢處を以つて商談を進め來るもの多し

◉イ　今村覺次郞

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長三三七番 電略イ又ハ「イマ」

下關相場

◉朝鮮白米は强保合其後百九十叺と外にチロロ白米五十叺等の輸入に過ぎざるのみならず依然產地の人氣安からずして不引合にも有之旁各米主の氣張り居る爲め人氣堅調を持しも何分除り意外なる急騰を演じたるさ其後內地側正米も一寸伸び悩みの商情を呈し居るも抔兎角買氣進まずして成行きの挑々しからぬ爲め其後氣勢昂らずして之れが弗々の出來

◉大豆は强保合其後後留物二百六十叺永洞三百十叺元山物百四十叺沃川物三百十五叺等の輸入ありしが依然他の一齊に人氣安からぬのみならず品の相當に買覗きも有之抔各手持筋の賣り腰强きに依り矢張氣方堅しからずして之れが弗々の川來直は左の通りに

◉小豆は依然手堅し本品は其後別に目先き一寸弛み難き商情なり

◉奇特なる婦人

江原道江陵

李王職各官省御用

英國製

SWEET HOME BIRMINGHAM ENGLAND

GUARANTEED BY THE KENNEDY CYCLE CO BIRMINGHAM ENGLAND

多數荷着特價提供

實用最堅牢

グロリヤ號

スヰートホーム號

直輸入元 京城本町二丁目 織居自轉車店 電話四四八〇番 振替京城四九三九番

定價表は御申越次第無代進呈致候

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）

入院隨意

酒井婦人病院

電話二六〇〇番

諸官衙御用達

洋藥　賣藥　卸問屋

醫療及試驗器械

くすりは山岸

總て迅速確實に市内配達及び地方通信販賣致居候

京城本町二丁目郵便局前

山岸天佑堂 藥品部 器械部

電話 一二五 一〇七 一〇二

振替貯金口座 京城三三

金牌受領

上酒壹升に付四拾錢

清酒美琳燒酎

釀造元 中井酒造場

卸賣は特に割引可致候

京城櫻井町一丁目 電話百七十七番

株式會社 漢湖農工銀行

京城南大門通二丁目

資本金　壹百萬圓

政府貸下金　三十二萬九千二百圓

農工債券發行高　百參拾萬圓

銀行長　白完爀

支配人　遠山縣

支店（開城、春川、江景、太田、公州、鐵原、清州、忠州、論山）

電話（四〇五五、二二五、二七四番）

當銀行は普通銀行業務も確實親切に御取扱申候

眼科　小兒科

入院隨意

京城黃金町三丁目赤門通（電話二四四三番）

本田醫院

院長　本田建義

◉景品附正月餅賃搗廣告

◉今般開店披露として來月十日迄に御申込の方は一斗四拾錢の割合以後御申込の方は同五十錢の割合尙新案特許家庭必須品を進呈す

◉前廣告乃木將軍像は今日迄の申込者に既配品切に付取消す

京城本町二丁目壽館前　商號登記　乃木餅屋

電話貳七五貳番又は葉書にて御報次第伺ひ可申候

建築用　板　浪　平　ニス　煙　テ　掃　除
各種附属　トーブ　突　器　筒　取　調　丁　請　負
併用　付　業

京城黃金町二丁目（電話二五四五番）

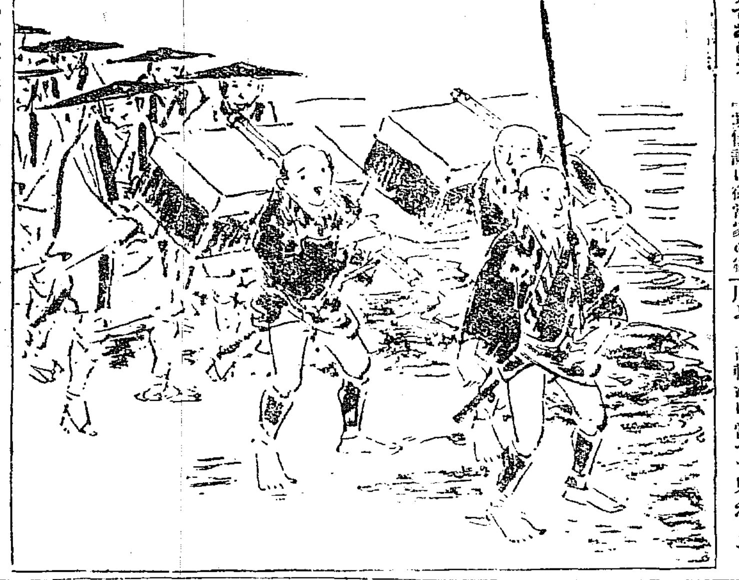
錻力商　田中吉太郞

御用の節は御一報次第迅速に取計可申候

越後大評定
第五十八席 早川貞水口演

忠直の出府

此とき内藤修理亮『此度將軍家格別の思召を以て、十萬石御加増下し置かれたるに就いては、諸侯みな將軍宣下の拜賀に罷り出づる此際、御當家にても右拜賀かた〴〵、御加増の御禮言上のため、御出府然るべく、恐れながら此儀は修理亮の一存を以て、御心添へまでに申上げる次第、御用ゐ下さらば、此上とも將軍家の御機嫌宜しきことゝ存ずる、此方も將軍宣下の拜賀を兼ね、此度の御恩賜有り難く御禮申し述ぶべく、出府致すであらう』修理亮の懇誠に御當家の御



利益と存じ奉る』是から休息せえと仰せられたけれども、江戸表に上の御用も控へ居りますればと、只一日の御逗留で、直ぐに福井御出發、サア御上使が御歸りになると、老臣御喜びを申上げる、忠直公も『當家は德川第一の家門であるに依り、五重の天守造營に就いても、何の御咎めもなきのみか、諸掛りの御助けとして御加増、さすがは骨肉の誼、將軍家より既に斯樣の思召あらば、此方何の御敵對申すべき、早速出府御禮申上げるであらう、尤も道中は百萬石の供揃を以て、東海道より登るべし、用意いたせ』とある、百萬石の供揃と云へば、大した事で御坐いまして、既に百萬石の大名が道中いたす時は、略して十萬石の格を以て御人數を繰出すと云ふ位、然るに七十五萬石の大名が百萬石の格を以て供

揃と云ふので御坐いますから、盛大無造いよ〳〵忠直公越前足羽郡福井城御乘出し、道中は二本道具、御先箱、臺笠、立傘、御曳馬、美々しき所の御支度を調へたることにて、正々堂々と御練出し、途次の人々は、越前家の御行列の美事なるを、拜見に罷り出でると云ふ騷ぎ、やがて江州まで御出になると、彼地より中仙道を横り、美濃路から尾張國に入り、其から東海道と、漸次日を重ねたることにて、最早品川近く相成り、鮫洲まで御先供が進んで來ると、品川より高輪沖に當つて見えまする

は白地に黒く一文字、ひと際目立つて枇杷の葉の付いたる御船印は、土佐の高知の山内殿、其より右に離れて、淺黄地に白く一文字、三光の立澤瀉は長州萩の毛利殿、續いて紫地に輪棒車の釘拔は、是れぞ筑後久留米の有馬殿、遙か洲崎の鼻を立切り、七八艘の大船あり、赤地に白く梅鉢に菊菱の船印は、加州三家の堅めなり、此方の沖に五六艘、赤地と白と紫に、揚羽の蝶、鎧蝶、瓢簟の船印は、遠州、備前の御兩家なり、さて其次に少し離れて、水色丸に卍五三の桐、金の御幣の御船印は、大日本海軍の總大將、阿波の德島、松平阿波守殿なり。

午前八時迄御購求の方は一個五厘引
乃木餅 ▲源平しるこ 二十錢
應用 そば饅頭 きなこまんぢゆう おはぎ かしわもち きだんご 燒餅 薩摩名產かるかん
明治町二丁目やそ寺前通 長崎名物屋

十二月一日九星
本命 三碧 東平 佛滅 寅 廿五日 十月

▲三碧 不映なる事有日 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible]

◎大典畫報 今回の御大典は洵に曠古の御盛儀にて國民の永く記念せざるべからざる處なるが東京 [illegible] 京城日報社 [illegible] 一部定價六十錢市内各書店にあり

演藝案内

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七
龍光館 龍山停車場前 電話(龍山)四一番
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 十一月二十七日より全部差替 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番
○若葉會素人淨瑠璃秋季大會 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三番
十一月廿六日より [illegible] ◎悲劇畔の罪 ◎冒險奇怪女曲藝師 [illegible]

佐久良座 龍山
女流浪界の大關女雲右衛門一行二十五日初日開演毎日午後六時より開場賑々敷く御來場願上候

壽座 本町 電話五七八
十一月二十四日より [illegible]

御成座 壽町 電話二一九一 [illegible]
詩館 壽町 電話一〇五〇 [illegible]

酒造場讓渡
明治四十一年の創業酒造場にして現狀の儘讓渡す希望者は [illegible] 紹介せられよ 至急を要す
京城新町 岩田酒釀造場 電話九二四番

流經新藥レスノリン 月經 [illegible] 常盤藥房

御大典の祝賀宴會の時 仁丹
金言 德を行ふべき餘地は常に存す(セネカ)
御用意あれ

優等清酒 鶴 京城本町三丁目 電話六五四番 本莊酒店

大正五年 國民日記

=日記界の覇王出づ=

『我等は日本國民である』と云ふ自覺は我等が無二の光榮であり誇りであります—此光榮と誇りとを每日自覺して國民としての責任を果たさしめんが爲に『國民日記』と云ふものが出來ました—『國民日記』の優美なる體裁は世界に卓越せる我日本の自然の如く—堅牢無比なる其製本は天下無敵の大和魂の如く—其充實せる內容が古今東西の智識を網羅して餘蘊なきは恰も日本の文明が世界のあらゆる文化の粹を拔きたるが如し『國民日記』は從來有り觸れた日記のやうなものではありません—眞に國民の爲に作られた國民の日記であります

定價 金四十五錢 郵稅 金八錢

取次所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

米國ビクトリー會社製 獸類捕獲器 一個金五十錢
狐、狸、ヌクテ 取器械
京城日報社代理部

醇良清酒
大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎
京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎
同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

日本郵船仁川出帆

大連 秦皇島行 砂丸	十二月十八日	正午出帆
大連、太沽行 河丸	十二月十一日	午前六時出帆
橫 丸	十一月三十日	正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆

金剛丸	十二月十四日	
京城丸	十二月四日	釜山發
咸鏡丸	十二月八日	
隱岐丸	十一月十八日	
成城丸	十二月九日	
昌平丸	十二月三日	元山發
京城丸	十二月五日	
平壤丸	十二月十三日	元山發
忠清丸	十二月五日	元山發
永興丸	每月廿八回	元山發
嘉島丸	十二月四日	釜山發
江陵丸	每日	釜山(浦項)發
三浦丸	十二月四日	釜山發
海州丸 巨濟丸	每 日	釜山發
統營丸 慶寶丸	每 日	釜山發
順天丸	三日目每	木浦發
慶興丸	十二月七日	木浦發
公州丸	十二月二日	木浦發
公州丸	十二月一日	木浦發
崇信丸	十二月三日	仁川發
江原丸	十二月七日	仁川發
龍水丸	十二月六日	仁川發
晉州丸	十二月一日	仁川發
全州丸		
南陽丸	每日午前	仁川發

京城南大門通 松原運送店 電話長一九五二番

仁川大阪商船出帆

宮島丸	十二月四日	群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
漢城丸	十二月九日	
溫州丸	十二月三日	
安東丸	十二月九日	午後二時出帆
天草丸	十二月五日	
鎭南浦、大連行	十二月三十日	午後二時出帆
湖州丸	十二月一日	午後五時出帆
木浦、神戸、大阪行		
チヨイサン丸	十二月十日	午後四時出帆
千珠丸	十二月九日	
チヨイサン丸	十二月三日	正午出帆
千珠丸	十二月十四日	
大連直行		
清津、浦潮行(元山出帆)		
久丸	十二月十八日	午後三時出帆
地宮丸	十二月八日	
大智丸	十二月十四日	
上海、基隆、打狗行(大連出帆)		
基隆丸	十二月四日	午前十時出帆
新高丸	十二月十七日	

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 二五〇
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 秀吉丸	十一月	日後四時出帆
君が代丸	十一月廿九日	日後四時出帆
神代丸	十二月二日	日後四時出帆
大有丸	十二月五日	日後四時出帆
第二太湖丸	十二月	日後五時出帆
群山、大阪行 土海丸		日後四時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

仁川共同汽船出帆

共同丸 群山、木浦、門司、若松行	十二月十九日	群山發
中村汽船	十一月	日後二時入 日前九時出
第一興運丸 城津、清津、浦鹽行(元山出帆)	十一月	日 後九時 出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行	十二月一日	前入時 出帆

同波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 山下回漕部 仁川代理店 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 小倉丸	十二月十四日	後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸	十二月二日	後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸	十一月卅日	後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸	十二月九日	後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸	十二月一日	後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸	十一月	日後六時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天與丸	毎月二日九日十六日廿三日廿一日	午後十時出帆

釜山府埠頭立新町 本船取扱店 大池回漕部

[illegible]

京城日報 第三
三十日朝刊 （第二千九百五十八號）

支那誘引問題
日本は列國と自ら立場を異にす

英佛露三國の支那參加誘引問題は事態甚だ重大なるを以て帝國政府も目下慎重に考慮中なる由なるが元來該問題の起因は支那に於ける獨逸側の暗中飛躍盛んにして現に過般柴棍に於ける武器密輸送の發覺事件等ありて英國政府は支那より印度へ仕向けらるゝ武器に就て之を憂慮措く能はざると同時に極東に於ける英國將來の政治經濟上の立場に關しても頗る神經過敏となり居り何とかして之を防止せんと考慮したる結果同じく極東に利害關係を有する露佛並に日本とも意見を交換し居たる矢先端なくも事の一端が電報により暴露されたるものにして共動機者に對しては大なる痛棒たるべけむも事茲に至りては勢ひ極東の覇者として公明正大なる我大日本帝國に信頼するの止むなきものあらむとす今日の場合我が一擧手一投足は實に極東の大勢に重大なる關係を有す斯かる重要なる地位にありて今日此の複雜なる外交問題に遭遇す其間に處して友邦諸國の爲めに其の誼みを全くし併せて帝國の利益に顧導するは畢竟外交手腕の如何に在り

▲我が態度如何 然らば帝國政府は果して如何なる態度に出づ可きか傳聞する所に據れば該問題の提議ありたる以來政府は各元老の意見をも徴したる所日本が極東に於ける禍根を除去し其平和を確保するの全責任を取るの如何は別として友邦諸國との交誼は飽く迄も之を重んずる程度に於て適宜の處置をなすべしとの意見なりとの事なれば多分政府は支那の參加誘引に贊同せずして獨り我帝國に於て極東の平和を維持し禍根を芟除するに力むるに至るべし我帝國の極東に於ける立場は自ら列國と異り事毎に列國と同一の態度に出づる能はざるは固よりなり而も我れにして本問題に贊同せずとも我は充分友邦への誼を重んじ東洋に於ける其利益を擁護するに努むるに於ては能く我が立場を了解せしめ得べし

▲帝政問題との關係 尚茲に注意すべきは例の支那帝政問題との關係なり蓋し日本は支那の現狀より見て此際政體の變更は極[…]に害ありと認め友邦も亦支那の治安を欲するを以て我に贊同せるにて今回の問題とは全然別個なり若し支那政府にして這般の消息を誤解し此機會を利用し帝政延期勸告に關する五國の協調を紊さんとの小策を弄する如きことあらんか（現に北京に於ては種々之に就き密議し居れるが如し）其謬想も甚しきものにて之に對する帝國の根本方針は斷乎として今回の問題と混淆して徒らに我帝國の感情を害ふの愚を演ずるが如きことは有り得べからざるなり（東京一記者）

滿蒙開發と經濟（上）
民族の膨脹と發展

滿蒙の開發に重大任務を有する發行銀行を如何に設くべきやの問題に關しては『朝鮮銀行の使命』の題下に吾人は鮮銀をして是れに當らしむることの經濟上最も自然の方法なる所以を述べたり。吾人の見る所略ぼ大要を盡したるも、尚ほ數言を本題の下に費さむと欲す。

改めて絮說を要するまでもなく、滿蒙に對する經濟的進出は、帝國の自存上絶對の必要に基づける約束なり、單に人口の關係より見るも、年々五六十萬宛を增殖する我邦の人口は、到底其の生活を內國にのみ期する能はず、必ずや此の過剩人口を何處に向つてか移植するに非ずんば、邦家は即ち倒ると謂ふも過言にあらず。人口の增殖は國家として喜ぶべく、但だ之れが爲めに國民の生活標準を低下し或は富の不均衡を助長して經濟上不利の結果を齎らすとなきに努めずんば、愛ふべき現象を見む。我邦の人口は、多方面に向つて動く能はざれども、朝鮮は別として、更に北に滿洲蒙古の廣野を控へ、此等の地方は今や我が勢力範圍地たり、而かも此の地方を措いて他に日本民族の大移動に適し、且つ容易なる所を求むる能はず。實に滿蒙に對する吾等の發展は、國家の自存上抑止し能はざる自然の欲求に出づ。如何なる障碍と雖も阻止し能はざる也。素より北方の原野は、之を氣候和順風光明媚なる母國に比すれば自然的條件の好ましからざるの多きは言を俟たず。さり乍ら、露西亞民族が東方發展の地たる西伯利亞が、風物の[…]薄き地方たるに拘らず、所在にスラヴ種の人々集團地の建設せられ、經濟的活動の愈々益々旺盛なるを見ずや。二十世紀最新の學術を應用せば、人力は或る程度まで天然を制し得べく、何ぞ到處青山あるかきを愛へむや。

功勞表彰（十四）
慈惠救濟 大谷派 本願寺別院

從來朝鮮に於ては行旅病人救護に關する何等の施設を見ず、地方部落に在りては部落民篤志家に於て之を救護する美風ありと雖も、旅人の去來頻繁なる市街地に在りては此良習を存せず、從て之が救護に當りて逢着する困難多かりき、明治三十九年二月大谷派本願寺別院內に同寺の信徒たる京城教社員及び元居留民團の共同寄附に依りて之れが收容所を設立し是等無告の病者の救療を開始し爾來九年七箇月、同院は之れが經營の衝に當り其收容人員累計三百六十三名に達し內全治せる者二百四十四名死亡者百五名にして現在收容中の者十四名あり、收容中の患者に對しては府より一人一日金二十五錢の割合を以つて之が交付金を爲すと雖も未だ全部の費用を償ふに至らざるを以て或は府公醫に治療を囑託し或は篤志藥店より所要品の割引購入を爲す外大部分は信徒等よりする慈惠篤志の力に依り之が經營を續行しつゝあり、由來此種救濟の事業たるや經營困難にして之が擔任者たる者甚だ以て念とし拮据努力する所なくむば能はず、然るに本收容所に於ける之が經營は收容患者數比較的多からざるの感あるも克く十年の久しきに亘りて不幸なる窮民の爲に再生の途を與へ以て社會に貢獻する所尠からざりしのみならず近く事業擴張の計畫を爲さむとす、其功勞洵に大なりと謂ふ可し

慈惠救濟 京畿道高陽郡龍江面 高允默

貧賤より身を起して一代の産を爲す者多しと雖も、能く其自ら蓄積せる財を散じ、公共慈善の爲に盡せる者高氏の如きは稀なりとす

氏は溫厚且つ篤實にして當初家甚だ貧しく、若年志を立て米穀商を營み精勵倦むを知らず、已を持する節儉財を積み現時能く數十萬圓の家産を有するに至れりといふ然れども日常の生活今尚ほ極めて儉素にして粗衣粗食に甘じ、家族に對して殿に驕奢を戒むると共に進むで公共慈善の爲めに巨額の金穀を投じ或は鄕黨の貧民を賑はし或は鰥寡孤獨を救ひ或は教育、衛生に或は産業、貯蓄等に盡力すること尠からず、其善行は甚だ多きは推奬に價するものと謂ふ可し今其主なる事績を擧ぐれば左の如し

一、貧民の賑恤 二十年來貧民に對し金錢又は米穀及び薪炭等を施與すること巨額に上り殆んど連日之が施與を行ひつゝある狀況にして精確なる數字を擧ぐる能はざるも一箇年を通算せば多きは數千圓、少きも一千圓を下らずといふ

二、鰥寡孤獨の救助 鰥寡孤獨の者にして疾病に罹りたる者ある時は藥品を施して治療を加へしむ、若し死亡したるときは之が埋葬を施すを例とす

三、教育及衛生上の貢獻 私立興英學校に金二千圓を寄附し又自ら面內に國語講習所を設置し之に百圓を寄附せり又た衛生上の事項に留意し傳染病流行の際の如き藥品を購入して面民に施藥を爲したり

四、産業及勤儉貯蓄の奬勵 金五百圓を投じて報恩婦人會を組織し恩賜授産場修了生を聘して蠶業又は機業の傳習を爲さしむ、又勤儉貯蓄、美風良俗等苟も地方開發に裨益あるものは熱心之が助長に努めつゝある外副業講習所を設け又は機械を購入して講習所員に分配したり

五、從來の受賞 舊韓國政府より二回、總督府より十回、京畿道及び警務總長より一回表彰せられたり

瑞光餘洩
小松綠

（五）君臨四方

十日午前十一時三十分賢所大前の儀訖りて、我等は再び朝集所に歸來す、各自の卓上には既に折詰辨當の配膳せられあるを見、忝く頂戴して茶を喫し煙を吸ふ、尚ほ一時間半を剩す、其の間舊知に會合して久濶を叙す、午後一時三十分用意の振鈴鳴る、二列となりて參進すること午前と同じきも、此の度は道を異にして紫宸殿に向ふ、右側は日華門より入り左側は月華門より入る、孰れも紫宸殿の前方及び左右の廻廊に整列す殿上に參列するは皇族及び大勳位以下從一位以上並各國使節なりとぞ。紫宸殿の南榮には殿額除かれ、之れに代りて長さ九十尺幅五尺の一大繡帽額あり、其中央に日像を繡出し之に五彩の瑞雲を配す、見るからに人をして瑞氣慶雲の靉靆たるを想はしむ、威儀の[…]を捧持する者、及び司鉦司鼓の本位に就く者、其裝束人數共に賢所大前の儀に同じ、唯之に加ふるに數種の纛旛を以てす、南庭の階前、左右相對して左近の櫻、右近の橘のある處櫻樹の南方に日像纛旛、橘樹の南方に月像の纛旛各一旒を樹て、其中間に萬歲旛二旒あり、日像纛旛の次に八咫烏形大錦旛、月像纛旛の次に鵄形大錦旛各一旒あり、更に此の兩列と並行して菁黃赤白紫五色の菊花章中錦旛五旒同じく小錦旛五旒、左右相對して羅る、孰れも光彩燦爛日光に輝き微風に颯きて人目を眩惑す。

予の立てる處は右側の廻廊にして折柄綠葉生ひ繁れる橘樹の眼界を遮ぎるに會ひ、殿上の鋪設は仔細に之を窺ふを得ず、唯な遙かに瑞麗なる垂髮緋袴の女性幾人かの並び立たるゝを望む、各皇族の妃殿下なるべし、他の一方には金色燦爛たる大禮服の人々あり、大勳位以下從一位以上並に各國使節たるべし、やがて大隈首相閣員を率ゐて殿上に進[…]衣冠束帶なり、須臾にして警蹕の聲を聞く、然れば天皇陛下の出御と覺えたり、然れども、繁茂せる橘葉を透して拜すべくも非ず、立纓の冠、黃櫨染の御袍にていと尊かりきと後にて聞きぬ

陛下出御の後ち大隈首相は西階より降り來るを見る、大禮服の大隈副參政官山崎秘書官の兩人左右より擁して歩行を援く、錦旛鉦鼓の右列を一週して南階の下に到る、其間凡そ一丁有半もあるべし、此の時勅語を賜ふ、次に首相南階を登りて壽詞を奏す、其の聲滿場に徹し、聞く者一字一句を逸せず、人々感ぜざるは莫し、首相壽詞を奏し終るや、直に階段を下り兩萬歲旛の中央に立ちて、高く萬歲を唱ふること三たび、參員之に和す、時に午後三時三十分、場の內外亦萬歲の聲起り天地に轟く、崇嚴の極又壯快の至、今更ながら天位の尊きを覺え國運の盛なるを念ひ感泣措く能はず。

秋雨晴來天日清。錦旛繚處瑞雲横。
紫宸殿上[…]何處。[…]萬歲聲。

曹溪五笑記

廿八日々曜日の午前九時友人工藤文哉を倭城臺下の官舍に訪ふ、先輩阿部無佛翁伯矢尾太華已に先客として在室、予加りて四仙と爲り雅談數刻、近時文哉先生の樓上に異彩を發つ一大額あり紙色古蒼双鳳軒の三大字を書す明末朱之蕃の手蹟なり、價二圓の事まで自狀せしめ時午に及ぶ食後腹こなしにと去て大和町に草堂金藝翁の僑居を訪ふ、翁亦藥を採るに非ざるべきも出でゝ在らず、然らば程近き日韓寺に鳩山大和尚を訪はばやとの無佛居士の議に贊し松徑を攀づ、途次遞信官舍の鐵網に落ちて無駄足を踏む三四丁、漸く往て山門に到れば伽藍僧房亂松の裡に相連り竣工日尚淺き事とて結構の佳、清新の氣横溢す、禪師に迎へられて方丈に入れば山上の松籟颯々として時に此境の閑寂を破るも南軒日暄かにして香煙茶味閑なから相宜し、席に白髮溫顏の一信士あり是れ中村再造翁にして頻りに老去菩提心の要を說く翁辭し去れば主客五仙詩を論じ畫を品し閑興滾々として盡くるなし、禪寺は先帝の勅題に係る新年の寒梅に題せし箭作ありとて一軸を示す、詩に曰く紛々天雨是天眞萬岳千峰遊戲新、還使人間參世事和光妙々僞同塵と太華翁伯記念の爲め寄書を爲さんと提唱し自ら虎溪三笑の圖と曹溪日韓寺の圖を寫す、且つ謂く予等亦た實に曹溪の五笑なり豈に一詩なからんやと直ちに前記の韻を履みて後鬪の端に散錄する事と爲る、夜に入り和尚の馳走に係る精進料理の饗を受け再遊を約して下山せしは同八時半なりき當日の即吟左の如し（盧山）

漫題和鳩山大和尚韻 工藤 文哉
清閑半日養吾眞。團座開香號殊新。
萬古終南山下寺。松風窓外不留塵。

同 上 無佛 陳人
十年枯淡養天眞。宿志始酬結構新。
邂逅來敲寺門夕。閑裏松老絶纖塵。

同 上 此經 盧山
素愚吾亦樂天眞。偶入寒林想更新。
雲石松風日韓寺。洗除四十五年塵。

迎客偶感 大高 鳩山
城中騷客任天眞。三笑談評意氣新。
半日曹溪何所見。松風吹斷世情塵。

日報俳壇 雉子郎選

菊

菊畑や一人の母に家廣し 惸黃子
座の詩句や皆爛熟す菊の酒 同
菊置いて幾日人來ぬ客間哉 同
慕ひ來て愛さるゝ子ゃ菊晴るゝ 未知男
しのびやかに邪教を奉ず菊の主 同
白菊や晚酌やめて老ひし父 同
此秋は菊も無く犬貰ひけり 盧中子
廢園の菊かと見れば蓬かな 潮外星
菊の宿有德の家と聞えたり 松風居

芭蕉

芭蕉破れたり隣國事を構へ來る 青扇
聽講の土庭の芭蕉にまで及ぶ 同

芋

芋堀るや一家の和樂牛强し 羊兒
芋煮るや横降り雨に閉す春戶 容堂

鷄頭

放課の鐘につぐ喧譟や鷄頭花 盧中子
縫ふ妻に背向けて書くや鷄頭花 山民

暮秋

行秋や空見て嗤ふ白痴の兒 羊兒
鑑母ながら去れば知る暮の秋 韮城
行秋や讀了へぬ書籍積んで見る 獨笑
行秋の廢なコスモスかれけり 右門
朝鮮に居て稅務吏や暮の秋 東村

耐久力の新レコードはサクラタイヤに依て發揮せらる

□タイヤー界稀世の逸品!!!
サクラタイヤーの出現は
一 大空を翔る飛行機の如く水底を駛る潛行艇の如く等しく斯界の靜寂を破れり
二 サクラタイヤーは其名望に恥ぢず品質意匠嶄新近代タイヤ工業の精華たり

壹万五千哩ノ試乘實驗ヲ有スル
サクラタイヤー

サクラタイヤーは拾參ケ月間（保險證附）責任を以て確實に保證し保險期間後猶は優に壹ケ年の余力を有する事は實用者諸君に於て既に確評あり
サクラタイヤー本會社製品中ゴム量最も厚肉重目なるものにて耐久力の强靭他に超越せる亦偶然ならざるなり
サクラタイヤーは殊に裏地に重きを置き最近本社に於て獨特に製織せしめたる細系ハブリック布地を用ひたれば絶對的に裂傷の憂なし
サクラタイヤーは本邦の風土に適する爲め殊に外皮裏面防水液劑を塗布し化學的に水分の浸入腐蝕を防ぐのみならず能く中袋の生命を保存すべく注意せり
サクラタイヤーは贅品に非ず全然實用的なるを以し定價又此に叶ふ
定價 廿八吋 廿六吋 共中袋附一組金拾九圓五拾錢

京城 中島商店護謨部
京城 鍋島商店
京城 マツ商會支店
仁川 井上藤吉商店
仁川 河野自轉車商會
龍山 中島商會出張所
元山 同 支店

弱いタイヤのを言わさんとすれば先づサクラタイヤを試みたる後

萬代の記念品無代進呈

さつと何誰の御氣にも召すものは!!
お目出度き御大典を記念する爲め
弊商會謹製の品質の良い
新煙 神代 の御試喫を願ます

新煙ホール函の蓋拾枚を弊商會へ御送付の御方には大典記念特製純銀盃桐箱入一個を進呈致します

京城 廣江商會

仁川米豆取引所 […]

英支同盟否認

英國外務大臣電訓

在本邦英國大使サー、カンニンガム、グリーン氏は二十七日外務省に幣原次官を訪ひ本國外務大臣より左の趣旨の電訓に接したりとて其寫を手渡しせり（東京特電）

北京に於て英支兩國間に同盟締結に關する商議進行中なりとの風説あるも英國は日本と協議の上に非ざれば支那と政治上の性質を帶びたる商議をなすの意志なき旨を貴官は日本國外務大臣に通報せらるべし

帝國議會召集

▲貴族院　第三十七回帝國議會は二十九日召集せられたり此日貴族院は午前七時五十八分石川縣選出多額納税議員山雄元太郎氏を先頭に續々參集し出席議員總數二百六十五名、午前九時第一振鈴にて徳川議長は柳田書記官長を隨へ著席開會を宣し議員席次は著席の儘とする事及び貴族院規則第五條に依り部屬の抽籤を行ふべき旨を宣し抽籤の上九時四十分一旦休憩各部室に入り部長及び理事の互選を行ひ十時二十分再開部長理事互選の結果を報告し徳川議長は之れにて貴族院規則第十一條により本院の成立を政府及び衆議院に通牒する事を宣し十時半散會せり

▲衆議院　七時半同志會の保科氏を先頭に續々登院、出席議員總數三百二十五名、午前十時第一振鈴と共に島田議長は岡崎書記官長を隨へ著席二十七議會は本日を以て召集せられたる旨を宣し次で議員移動を報告し更に衆議院規則第十五條に據り議席次定の旨を告げ同十六條に據り各部屬は抽籤を以て決し十時半各部に於て部長理事の互選を行ふ爲め暫時休憩、十一時半再開書記官部長理事互選の結果を報告し之にて衆議院は成立したれば議長は此旨政府及び貴族院に通牒すべしと宣し同四十五分散會せり（東京特電）

衆議院各派交渉會

衆議院各派交渉會は廿九日午前十時半院內議長室にて開會、島田花井正副議長並に各派交渉委員出席左記各案件を決定し政友會提案に係る御大典奉祝中議會に於て論議を避くる爲め十日迄休會すべしとの案に對し國民黨は贊成したるも同志會其他は五日迄休會し六日より開會すべしと主張し意見合致せず結局開院式當日更に協議する事とし正午散會したるが協定事項左の如し（東京特電）

一、開院式勅語奉答文起草委員は十八名とする事
一、本會議日を火木土、委員會を月水金、質問日を火曜日とする事
一、常任委員割宛は按分比例に據る事
一、二十五名以下の團體は交渉團體と認めざる事
一、開院式當日午前九時各派交渉會開會の事

議會成立奏上

大隈首相は二十九日徳川、島田兩院議長より兩院成立の通牒に接したるを以て午前十一時半其の趣きを奏上し併せて開院式詔書下附の件を奏請せり（東京特電）

國民黨代議士會

國民黨にては二十九日院內控室に於て代議士會を開き政友會より提案の開會當日より十日迄休會の件は政友會の提案に贊成する事を決し次に院內總務及び幹事を左の如く推薦し十一時散會せり（東京特電）

院內總務犬養毅、院內幹事望月長夫、同野添宗三、同犬養源太郎、同相島勘次郎

加藤總理招宴

役員指名發表

加藤同志會總理は二十八日午後五時より所屬黨員二百五十餘名を築地精養軒に招待し宴酣なる頃三鞭の杯を揚げて兩陛下の萬歲を三唱したる後ち起つて午前の代議士會に於て總理指名に一任したる院內總務、議員總會々長、同副會長を左の如く指名せり

△院內總務　片岡直温、濱口雄幸、安達謙藏
△議員總會々長　村松龜一郎
△同副議長　高橋久次郎、齋藤宇一郎

加藤總理演說

原君を揶揄す

加藤同志會總理の別項招待會に於て爲したる演說の大要左の如し（東京特電）

予は新聞にて反對派領袖の演說を一讀したるに縷々數萬言其の劈頭に於て長々しく外交の失敗を論じ居れり原君は現內閣成立以來の外交は全然失敗なりとし事の外心配せられ憂慮措く能はずとの事にて聽かし健康を害されたる等なるべきに過日京都にて會合したる際は頗る健康體に見えたるは予の大に安心せる所なり次に反對黨は餘程急所を突きたる積りにて予と若槻君が內閣を退きながら之れを援助するを非難せるも現內閣は我が黨の意見を基礎とし我が黨の主義方針を實行するが故に之れを援助するものにして其の間何等の不思議なし若し原君にして內閣を組織し我黨の主義政策を實行せば喜んで同志會を引き込んで原君の內閣を援助すべし

中正代議士會

中正會にては二十八日午後六時より築地精養軒に於て代議士總會を開き大竹貫一氏を座長に押し橋本幹事より會務の報告あり終つて幹事の改選に入り尾崎、花井、八田、大竹の四詮衡委員に於て詮衡の結果常任幹事に加瀬、安田、河崎の三氏院內幹事に關崎、平出、横山の三氏を擧げ對議會策に就ては何等の申合せをなさゞるのみならず一言之に及ばざりしは問題發生の都度協議せんとするものにて直に宴に移り尾崎法相は一同に促され對支問題に付き一場の演說をなし九時半散會せり（東京特電）

法相演說

對支外交に付き

別項中正會代議士會に於て爲せる尾崎法相の演說要領如左（東京特電）

對支問題に關し閣僚間に異見あるやに傳ふるものあるも抑も內閣會議なるものは各自處見を吐露し最後の決定をなすべきものたるは敢て言を俟たず又た要に政府の發したる對支警告は實際に於て支那の帝政實現を延期せしめたり其の何時迄延期すべきやは須く我官民の決心如何にありと云はざるべからず又た近時英國が我國を出し拔いて支那を協商側に引き入れんとしつゝありとの說をなすものあるも這は餘りに神經過敏に非ずや若し夫れ予が御大典參列中掛官の意を漏したりなど稱するに至ては全くさることなかりしと斷言したり（東京特電）

立花總長著京

立花警務總長は二十九日午後一時五十分東京驛著列車にて著京せり（東京特電）

雜報

奉天　亂匪取締令

巡按使は近來亂黨匪類の奉天省內に潛入するもの多きを以て管內各警察に電報し左の取締を勵行せしめたり（奉天）

一、城鄉の旅店は注意して檢査を行ひ以て匪黨の混入を防止すべし
二、保甲民團は巡警と相助けて協力匪黨を一網打盡すべし
三、功罪相顯綜せず畛域を撤して一致協力に匪類の剿滅を期すべし

支那大典籌備

支那大典籌備處の組織及び人物配置狀況なりとて一支那紙の報ずる所に據れば各部より派する人員及び公府の重要人物より加入せる者は約五十五名にして前日朱處長は各科主任を內務部大廳間に召集し已に提出しある左の各案に就き其進行方法を討議せり（北京）

▲禮制方面に關する提出案（一）朝賀の儀式（二）外國公使の朝賀（三）滿蒙回部藏の朝賀
▲祀典方面に關する提出案（一）大皇帝即位の時の恩典（二）廟頭に對する法典
▲撰擬方面に關する提出案（一）新皇帝受位の詔書（二）新皇帝の宣誓（三）新皇帝の勸告（四）新皇帝の召賢
▲制誥方面に關する提出案（一）封爵制度の規範（二）現在變革の意見（三）登極の時應に頒布の賞典（四）廟頭賞典の辦法
▲財政方面に關する提出案（一）事前の用費（二）登極時の用費（三）福費各項賞典（四）發與災民費（五）京內外官吏俸給增設

鑛業界の新記錄

出願者百數十件

朝鮮の鑛業界は九月中旬即ち始政五年記念朝鮮物產共進會の開會後より次第に殷賑を呈し採掘の出願者例年に比し大に增加の傾向ありしが十月下旬より十一月に亘りては此の趨勢殊に著しく昨今の如き出願件數多きは一日十數件、少なきも一日五六件を下らず、斯の如きは稀有の現象にして之れが原因に就きては種々の說あり、或は共進會に於ける鑛業の出品物に對し朝鮮鑛業界の眞に有望なるを覺知せる結果ならむといひ、或は舊韓國時代に於ける選定權の消滅期切迫せるに由ると傳ふる孰れも一理ある可きか、其他鎭南浦に於ける久原製煉所の設置に伴ふ買鑛の殷賑並に內地各製煉所よりの買鑛者入り込むなど亦與つて與からざる原因なる可し、此れが原因に就きては總督府に於ても目下種々調査中なるが出願鑛山は金鑛最も多く砂金之れに次ぎ其所在地は忠淸南北道黃海道及び慶尙南北道に最も多く主として南鮮地方に盛なるは著目す可き現象なり

煙草收納旺盛

葉煙草耕作組合に於ける倉庫の收納は昨今何れも進捗しつゝあるが其內龍仁耕作組合に於ては十一月十八日より收納を開始し二十七日までに一萬一千七百十一貫匁を收納せり同倉庫に於ける一回の收納量は約三萬貫なりといへば既に其四割方を收納せる譯なり、又淸州葉煙草耕作組合に於ては本院の倉庫に收納せる數量十二日より二十八日までに約二萬貫に達せるが同倉庫の收納煙草は既に十萬貫餘の買約成立し目下引續き收納中なり、而して金化耕作組合は二十三日より收納を開始し昨今約八千貫を收納せるが其第一回收定額は一萬五千貫なりと、因に金州及び新興の倉庫は昨年も成績面白からざりしが本年も亦多分收納の運に至らざる可しと觀測されつゝあり

露國公債發行

露國五分半利附公債は愈々發行する事となり拂込期日十一月二十五日より二十九日に至る五日間發行價格九十五据置年限十個年にて利子は本年十一月一日より附せらるべく尙特典として各種の課稅を免除すべしと（大阪）

太田氏赴任期

朝鮮銀行滿洲總支配人太田三郎氏は三十日午後九時四十分南大門驛發列車にて大連に赴任すべし

人事消息

▲佐藤新次氏（第三十三聯隊長）入京中の處二十九日滿洲へ出發
▲松寺竹雄氏（地方法院檢事正）二十八日京上

共進會と京城

經濟界（二）

▲開期中の觀覽者　鮮地內地に、九月十一日共進會の開かれて並に內地よりの入京者數を類別せんより開會中は絕えず半島十三道の各地より或は觀覽團體又は單獨觀覽者の入京ありしのみならず、一方內地知名實業家の入京も亦豫想以上の大數に上り、此の他市民觀覽者と共に其數實に百十六萬四千三百八十三人を算し十月末日を以て、大成功の裡に閉會せり。今此等入場者の內譯を鮮地內觀覽者內地人入京者、市民入場者及び場內官吏職員其他關係者の出入の四に區別して諸種の方面より觀察分類する時は、總入場者數百十六萬人中

▲京城市民入場者　京城總人口約二十五萬人中小兒、老人及び病人にして入場する能はざりし者並に其他の事情に因り入場する能はざりし小數の市民を、總人口の約二割五分即ち六萬二千五百人を見る時は市民入場者數は差引十八萬七千五百人となる、而して之等入場市民は、開會五十一日間、一人一回乃至十數回入場したる者さへあるも、概して閉會間際迄は京城市內の住民は入場するもの寧ろ稀にして其總延人員二十五萬を出でずと想察せられしが最後の三日間に於ける無料入場者無慮三十七萬人の大部は、京城市民の入場者にて其數三十二萬を下らず即ち前者と併せて延人員約五十七萬之を總入場人員百十六萬人より差引く時は五十九萬人となり其他場內官吏、員、關係者の出入數、共進會女、係官吏、協贊會職員、共進會場內飲食店等從業者の出入度數を一人一日平均約二回強として、此の延人員六萬二千五百人を前記殘人員五十九萬人より引き去る時は五十二萬七千五百となる、即ちこの五十二萬七千人は鮮內及び內地よりの觀覽延人員に依りて入場したる理なり

▲內地人入場者　諸種の方面より、鮮地內及び內地より共進會が吸引したる人員の見積を爲す時は前者は大約三十七萬、後者は二萬五千、合計三十九萬五千人と見ることを得、而して此等の中鮮人觀覽團體の如きは、只一回の入場者多しと雖も、他に單獨にて入京し數回の入場を爲したる者も亦相當の數に上りたるべければ、內地人入京者と共に、一人平均一回強の入場度數と見るを至當とす、即ち全入場延人員より市民入場延人員及び場內關係者の出入延度數を引き去りたるもの即ち鮮內及び內地よりの入場延人員五十二萬七千五百人に、鮮地內及び內地よりの觀覽入京者數三十九萬五千人を割り當つる時は、一人平均約一回三分強の入場度數となる、更に以上の計數を表示すれば左の如し

入京地方別數		共進會入場人員	同上一人當入場回數	同上入場延人員
京城市民		一八七、五〇〇人	三回弱	五七〇、〇〇〇人
場內官吏職員其他關係者			一人一日平均二強	六二、五〇〇
鮮地內	三七〇、〇〇〇	三七〇、〇〇〇	一、三強	五二七、五〇〇
內地	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	―	一一六、〇〇〇
計	三九五、〇〇〇			

朝鮮總督府裁判所書記　早川保次君編著

再版　改訂增補　朝鮮不動產登記　朝鮮商業登記　申請書式並心得

▲紙數四百八十頁、代價金壹圓、郵稅金拾錢

本書中不動產登記の部には土地調査に關聯せるもの及不動產登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑記書式等併て百貳拾餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、改印屆、土地變更事項に關する證明申請（京城府所定）委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄離形等ゟ揭て加之官通牒、登記に關する決議、實例等苟も申請人の參考と爲るべきものは擧て、各書式の末尾に之を揭記し以て疑默を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得べき程度に之を編纂せり土地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所　京城日報社代理部　京城大平通一丁目　振替口座京城三〇〇番

十二月一日より五日間

格安　實用ぎれ賣出し

京城　三越呉服店

帶地錦紗共に季節向の格安品取揃へ御覽に供す

婦人畫報增刊　御大典記念畫報

二頁大原色版　◎御即位禮當日兩陛下御正裝

極彩色繪　○高御座（二頁大）○御帳臺（一頁大）○賢所大前の儀（一頁大）○大正御即位禮（二頁大）○大嘗祭（二頁大）○五節舞（二頁大）○久米舞（一頁大）○御大禮奉仕諸員服裝御用度（一頁大）○萬歲樂（一頁大）○太平樂（一頁大）

光澤寫眞　○天皇陛下御正裝の兩陛下　○御高座と御帳臺　○悠紀殿主基殿　○紫宸殿　○大嘗宮　○二條離宮　○御即位禮式場　○建禮門の參進　○御親謁の伊勢神宮　○御親謁の御陵　○天皇陛下束帶　○皇后陛下御裝束　◎兩陛下御累年御尊影　○皇族殿下御束帶　○皇族妃殿下御裝束　○御嘗蓄と御　○美しき五節舞　○奉仕諸員太刀　○奉仕女官裝束　○東京御發輦壯觀　○京都御著輦壯觀　○奉仕諸員東帶　○大嘗祭舞場美觀　○京都御所　○仙洞御所　○悠紀齋田　○主基齋田　○女官九節舞姬裝束　○御大禮中勅使服裝　○御倚子御旛鉦鼓等　◎此外記事挿入寫眞數十葉

讀物　○明治の御即位と大正の御即位　○大禮の旨意と國民の覺悟　○大正御即位の御次第　○御大禮の歌舞音樂　○御傳來の三種の神器　○御大典に使用さるゝ水產物　○大嘗祭と農業　○大嘗祭の風俗歌　○御大典に際して

定價六拾錢　郵稅四錢

○印刷部數に限あり即刻御注文給はずば忽ち賣切れとならん

發行所　東京社　賣捌所　全國書店

東京發別電

▲支那協商如何 …に操れば…
…日駐日露國大使は幣原外務次…
…日議會召集せられ十二月一日開院式…はせらるゝに付政友會は十日迄
…日觀兵式擧行演習ありて盛んな…

▲印度人退去命令
…名退去を命ぜ…

…し錢三厘にして之を前年同月のては十五萬九千六百二十八圓七十三…四百二…圓二十一錢三錢四厘にして前年同月は十六萬九千…〇八十六圓二百五十二圓九十錢九千六百三十四…に本年十月…圓十六錢六厘の減收を見たるが之を…五十七萬零百三十五圓七十二錢七厘なりと

◎郵便貯金概況
…者あり…貯金額百四十三萬九千一圓三十六錢六厘なりとす而して振替貯金は口數二千九百八十九人にして此貯金額四十二万五千八百六十一圓六十…

…の中島、石川の兩巡查が探知し注意中二十九日午前零時半頃…溫突に於て數名の鮮人が車座となり…

▲英政府英支同盟否認 ▲政友會休會提議 二十九 ▲觀兵式豫行演習 二十九日

[illegible]十一月末に於ける[illegible]大を聞くに郵便電信電話に對し七十[illegible]圓六十錢五厘の增收なり又收入印紙[illegible]月一箇月に於て四十一萬〇五百六圓[illegible]實上に對する收入を聞くに十月に於[illegible]萬六千八百四十四圓十錢七厘の增收[illegible]なり故に遞信局十月分の收入總額は[illegible]九千五百九十二圓九十九錢にして[illegible]入は六十一萬三千八百〇七人の加入[illegible]

總督大藏經を獻す

京都東山泉涌寺に奉納

寺内總督は明治天皇の稜威に依り日韓併合の大業を遂行せる結果世界無比にして國寶とも稱すべき高麗朝大藏經版が韓國政府より總督府の所有に歸せしに就き數萬の巨資を投じて三部を上梓し內一部は先帝の御冥福を祈る爲め帝室に獻上し歷朝の御菩提寺たる京都東山泉涌寺に奉納致し度き旨今回東上後上奏し既に御裁可を經たるに依り黑田囑託は總督の電命に基き之を奉持し既記の如く二十九日夜出發し京都に向へり同版は高麗高宗の二十四年より十五年間を要し北宋本契丹本並に顯宗朝の高麗初本を對照し當時の國都江華島に於て大藏都監を置き大僧統守其等數十名にて篇纂版刻したるものなり初めは江華島西門に在りしを後ち城外に移し李朝太祖の朝京城支天寺に移したるが後ち更に慶尚南道陝川郡の海印寺に藏せしめ今日に至れり彫版以來星霜正に六百七十四年にして卷數六千七百卷全部初號活字大にて版數八萬一千餘枚表裏を通計すれば實に十六萬二千餘枚の多きに達し二尺六寸立方の大箱十五箇に納めらる、總督は大正二年中第一回の調査を爲して粗ほ其完全なる事を確め更に昨秋再調査の上全く誤りなしとの報告に接し上梓に決せり而して昨年十月より本年三月迄中央試驗所其他地方の製紙所に命じ蠹蝕を防止するの注意を以て製紙せしめ去る三月十五日より八月末迄小田事務官監督の下に有賀屬直接指揮し毎日五十名の鮮人夫を用ひて印刷せるなり尚ほ製本は獻上の分は折本とし表裝は絹製にて高麗朝の死に依り蓮辨に唐草の模樣を模し鄭重を極め殘り二部は綴本とし表裝は紙を用ひ一部は總督府參事官室に他は景福宮なる總督府博物館に珍藏保存なす筈なりと

石油が牛乳になる

現代の科學では說明の出來ぬ世界

精神作用と肉體とは相互に密接な關係がある特に我々の興味を感ずるのは精神作用の疾病に及ぼす影響である虎列剌病の流行する場合などに神經が過敏になり非常に其傳染を恐怖して居ると却て類似の症狀に陷ることがある其他過度の

■心配の爲めに 突然頭髮の全部が白色に變じたり或は激しき憤怒の爲めに俄に黃疸を起したりすることは珍らしからぬ或は今まで順調であつた婦人の月經が突然精神感動の爲めに礙と停止する樣な例も少くない右の事實は今日生理學や病理學上から容易く說明し得らるゝ有觸れた現象で敢て異とするに當らない然るに他の一面には我々の智識では未だ說明の困難を感ずる事實がある彼の想像妊娠といふことの如きは其一例である之れは實際妊娠しないにも拘らず其婦人が妊娠の想ひを發するので其時は單に月經が停止する許りでなく腹部は漸次膨滿して

■乳房も大きく なれば乳暈等も妊娠時と同樣暗黑色と變ずるなど凡て眞實の妊娠と同樣の外形を呈して來るまた或るヒステリー性の一婦人が乳房に挫傷を受けた所が其局部に鷄卵大の腫瘍を生じたので外科醫の診察を求めると外科醫は乳房肉腫と診斷し手術を施して其惡性腫瘍を除去せねばならぬといつたが患者の健康狀態が許さなかつた爲め其儘にして置くと不思議にも腫瘍は突然何の痕跡もなく消え失せてしまつた之は或微妙なる精神作用の感應から乳房に腫瘍變化を起し其れが又精神作用で自然に消失した一寸珍らしい病理的現象なのだが今日の學說ではこれを說明する事が稍々困難である又精神作用で不意に火傷樣の

■發泡や出血等 を來すことがある此の現象は感應狀態にあるものには往々起る事で精神病學者のクラフトエビング氏は被術者の皮膚に燐寸箱、財嚢貨幣の如き物を置いて『お前は火傷をしたよ』と暗示を與へると恰も亦其物體の形狀に一致した火傷性の變化を起したことを認めたさうである又暗示で隨意に鼻腔から出血せしめたり或は皮膚の出血を起さしめた事がある一被術者に普通の絆瘡膏を貼つて置き乍ら『發泡膏を貼つた』との暗示を與へ眞の發泡膏を貼つた時と同樣の變化を起させることも出來るこれらは曲りなりにも科學的說明を下し得るが之れ以上になると現代の智識では全然說明の出來ぬ事がある例へば夢遊狀態にあるものに石油を飲ましても之れは牛乳であると暗示を與ふれば其者は

■眞の牛乳と信 じてさも旨さうにガブ〳〵と嚥下する而も其者は何等の中毒症狀をも起さない歐洲の中世紀時代には神の裁判の一種に『火の試み』といふのがあつた是は嫌疑者か眞の犯人であるか否やを判別する爲めに其嫌疑者に火の樣に灼けた鐵を握らすとか熾に燃え切つてゐる火の上を踏ませるのださうだが其が本當の犯人ならば忽ち火傷するが若し冤罪者であるならば何等の傷害も受けぬといふのである我國の古代にも之れ等に類した探湯といふのがあつて沸騰せる湯の中に手を入れしめて其火傷すると否とに依て罪の有無を判別したとかある是等は歷史上の事であるが今日でも感應狀態にある者に豫め『火傷はしない』といふ暗示を與へて置くと熱湯內に手を入れても或は

■烙鐵を握らせ ても毫も火傷をしない事は實驗に於いて明かな事實である之れ等は精神作用が肉體の抵抗力に及ぼす感應の如何に偉大なるものであるかを證するものであるる而も之れは唯事實であつて何が故にかゝる事をなし得るかといふ段になると到底今日の科學では說明が出來ない（公田兼次郎氏談）

初冬小品 其一 鳥の巢

印度革命黨の退京

在京印度人等頗る不平に堪へず

從來印度革命黨員と目されありし芝區白金今里町ハランバ、ヱル、ガプタ（三一）麻布笄町ピー、エヌタクール（三十）の二氏は十二月二日限り横濱より退去すべき旨二十八日警視總監より命令書を交付せられたるが之れに對し在京印度人は日本政府の外國々事犯人に對する處置妥當を缺ぐ者なりとし頗る不平の聲あり（東京特電）

空中敬禮

玉座前にて國旗を一齊に掲げん

十二月二日青山練兵場に於て擧行さるゝ大禮觀兵式に飛行する航空隊は航空船一隻飛行機十機にして航空船は午前十一時式場に到著する如く所澤を出發式場に到著せば分列式終了前觀兵式場西側の線以西地區を約五百米突の高度を以て航空し騎兵部隊の分列を終らば直に所澤に歸還すべく飛行機は午前八時卅分迄に所澤練兵場に集合し諸隊分列を終りし時機に於て其の先頭青山練兵場に到著する如く出發し二隊となり各機は適當の距離を取り單縱陣と爲り各縱陣は約千米突の距離を取り約三百米突の高度を以て南方より北方に向ひ式場西側の線を飛行し玉座と略齊頭面に達すると共に國旗を掲げ敬意を表示する筈にて日本陸軍の最初の壯觀を呈すべし勿論天候等の關係に依り航空し得ざる場合は飛行を中止する筈なり（東京電報）

露國壯丁の兵役忌避

南洋移住と稱して續々南下す

近來露國人壯丁の大連港を經て南洋に赴く者多し昨日も西比利亞より南下せし露國壯丁二十名嘉義丸にて南洋に向け出發せり彼等は南洋移住と稱するも其實徵兵忌避の爲めと看做さる何れも二十歲前後の血氣の男なり（大連特電）

火藥庫を狙ふ

二十七日服部虎吉なる者千葉縣習志野火藥庫を狙ひ官憲の爲に捕縛されたり（東京電報）

警官侮辱事件

圓滿解決を告ぐ

既電の如く奉天に於ける我が警官侮辱事件は暴行せる第二十七師兵を處罰し將來同師兵の對外人態度を戒飭する事、道路取締に關する新令發布の場合には其都度日本領事に通告する事に決し交渉圓滿に解決せり（奉天特電）

支那人不法の暴行を働く

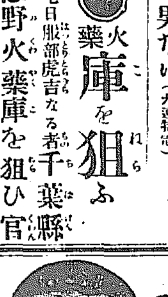
廿三日午後九時頃長春北門外鈴木東吉郎氏方へ二名の竊盜忍び入り手當り次第に物品を掠奪ひ逃走したるを雇支那人追跡し間もなく追ひ附き一名を捕へ北門外の我警察官派出所へ連れ行かんとする所へ一名の竊盜引き返へして雇支那人を毆打し朋輩を連れ行かんとする所へ支那巡警四名來り亂暴にも竊盜に加勢して支那人を亂打し無理に二名を奪取せんと揉みつ揉まれつあり折柄鈴木氏妻女來り二名は竊盜なれば引き渡し呉れと賴みたるも却つて巡警に銃尻にて毆打せられ微傷を負ひたり斯る所へ急報を聞きて鈴木氏及び本邦人數名驅け附け巡警等を追ひ拂ひ二名を一先づ自宅に連れ歸りたる折柄姜巡警局長自ら來りて犯人の引渡を請求し遂に之を引き行たりと

談合金の裁判

愛知縣知多郡內海町宇山海當時咸興朝日町土木建築請負業河內彥吉咸興仲町一丁目土木建築請負業梶田喜代八（三八）及び愛知縣知多郡小鈴谷村當時咸南の兩名は外三名の內地人同業者と共に本年五月二十六日及び二十八日咸南道廳に於て襄陽元山間の道路架橋工事の指名入札をなすに際し自己の一手に占有せんと欲せる宮崎金造なる者より該工事の相當見積額より多額なる入札をなし以て自己に落札せしめ呉るべき旨の申込みを受けたるより兩名は之を承諾し入札金額に就き相談を遂げたる上右各入札日に數回該工事の相當見積額よりも多額の入札をなし遂に宮崎に落札せしめ右謝禮として宮崎より故なく金三十圓の交付を受けたるを以て九月十四日咸興地方法院にて河內は拘留七日に同梶田も同七日の判決となりたるを京城覆審法院に控訴したる所棄却となり前同樣となりたる所梶田は尙も高等法院に上告したり

懸賞尋人廣告

（十七歲の寫眞）

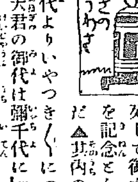


大阪府堺市生れ（本年十九歲）
大澤慶次郎 身長五尺三寸以上
右大正二年夏朝鮮仁川に於て突然行方不明に付本人の生死所在御通知の御方に金壹百圓也謝禮す
但し最初御通知の御方に限る
大阪市東區京橋二丁目廿五番地 小枝直次郎

圍碁聯合大會

京龍圍碁聯合大會は二十八日正午より旭町一丁目萬千閣樓上に於て開會せるが當日は斯界の驍將八十餘名集合し紀木伊藤二氏審判役を務め大久保、宮、佐藤、有賀、岡川、上月の諸將以下四十餘組に分れて互に龍攘虎搏の妙技を顯したる末小田、佐藤（伊藏）澁谷、藤井諸氏各五勝者となり更に五勝者の決戰を行ひたるに遂に藤井氏一等賞を贏ち得て同十一時散會せり

うわさのうわさ



楢垣京畿道長官は今回の御大禮に參列して御大禮百首を記念として詠んだ▲其內の一首に『神代よりいやつぎ〳〵につきませる吾大君の御代は彌千代に』▲學校組合が京城府の內に移轉してから彼是一年餘りになるが▲健忘性い京城府民は未だに判らぬと見え日本人商業會議所に出頭して『戶別割は何處に納めますか』と尋ねる▲それが一日に三四人平均あるのだから會議所の給仕もホト〳〵閉口して居る▲中には警察と間違つて『罰金を納めに參りました』と云のもある▲そこで或人が考へた末に曰く商業會議所、警察、府廳、學校組合等の各門前に片假名で書いたペンキ塗りの看板をかけたらよからう▲多が來て大抵の內には煖爐を据えて居るため少なくとも月三四回煙突の掃除をする▲所で其の掃除人と云ふのが大方は黑人の樣に眼の玉ばかり光つて居る奴で人相の判明らぬ所を小泥棒などが利用しているなかさつぱり判らない▲その人の樣子を見て置いて夜間盜賊に這入るのがあると云ふ

朝鮮總督府

一白米 二百二十石 總督府醫院納
一挽割麥 八石五斗 同
右購買ス詳細ハ大正四年十一月三十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

本社電話番號

當分の間構內接續電話を廢し凡て局直通電話にて左の通り御呼出被下度候
編輯用 三四五番 一二一四番
營業用 長三二六番 六六〇番
發送用 二六一六番

京日案內

普通 一回前金三十錢（無割引）
番外 一回前金六十錢（無割引）

◎男女外交員募集 日給壹圓五拾錢以上希望者履歷書携帶午後七時迄面談 ◎本町三の三八▲魁友俱樂部 88

◎求職 銃中古（十・十二番）至急讓受度し希望者銃帶價額面談の事 ◎京城黃金町二ノ一九九高橋久太郎 89

◎名刺△印刷物△印章の注文取り入用市內に確實なる保證人ある者に限る ◎京城大漢門前△富田素軒 80

◎店員入用 齡十四五六高小卒業程度希望者市內確實保證人要す ◎京城本町二丁目ちゝぶや 76

◎貸家 日本建溫突付三室至極閑靜官吏向 漢陽公園南裏 管理者 龍山印刷局先畑中 79

◎同志 最大有利の好事業あり秘密に共同出資者を求む希望者午前中至急來談あれ 黃金町一の壹九八▲普及社 72

梅毒 肺結核 壽町（本町二丁目右入） 島崎病院 外科 內科 電話二七三六番 診察夜九時迄 ◎隔離及普通病室有 87

◎馳獵用並に◎洋式馬具一式◎ズック品◎革具其他◎製造販賣 京城明治町二丁目 古賀商店 電話一八三三番 製品確實廉價提供 82

內科 兒科 專門 胃腸 呼吸器病 京城本町三丁目元中島病院跡（入院隨意） 山田醫院 電話二八〇番 81

諸流 ウタイボン ◎壹番木各種及び附屬品全部 京城南山町三丁目 中川靜松堂 75

質屋 支那領事館通移轉從前同樣御引立願上候 士族新築確實に御扱可致候 黃金町二丁目長橋通入 電話二九一六番 田村質店 902

橋本齒科醫院 京城南山町三丁目巴城館通 齒科醫學士 橋本清次郎 電話二九二〇番 925

銀牌受領 平壤醬油は今回の大共進會に於て銀牌受領 眞價と證明に依る 倍舊の御引立を乞ふ 新龍山局前電話二四六番 內田出張店 936

▲パン 品質の優越せると目方の豊富なるは 太平通二丁目 相川パン屋に限る 電話は一一八九番へ御掛下さい 47

好職 ゴム事業傳授す月收廿圓以上詳細郵券十錢送れ ○ルーデサック一個五錢子宮サック同五十錢寄送費二錢 ゴム風船問屋 京城大漢門前電二六〇六 太陽ゴム商會 74

◎はねつき等 うちみくじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 847

恩給年金退隱料長崎即時取引來付千圓以上特別契約 十二月廿五日迄二萬圓限度貸 入軒西四ツ角 黃金町通櫻井 電話一一三三番 博多屋本店 856

酒精アルコール

猩々印特等品、壹等品貳種新荷著特々勉強可仕候
酒精直輸入一手發賣元 仁川宮町（振替口座京城六八番） 鬼頭兼次郎商店

新聞講義錄

記者志望者の一大福音 新聞記者養成機關
■日本に始めて出來た新聞學の講義錄也
■會長大木伯■本會贊助員及講師は一木內相、尾崎法相、高田文相、箕浦遞相等を始め中央有力なる各新聞社の社長、主筆、編輯長、學士等
○記者出身の各大臣
○新聞記者には誰れでも成れる乎？成れる！僅か半歲（速成科）か一年（正科）の本會講義錄講習に於て誰でもなれる。來れ青年立身出世最近道
內容見本會則 東京牛込矢來町十一番地 大日本新聞學會

★★★ 名刺用紙製造發賣元
大阪明田鐵工所製印刷機械販賣代理店
大阪原田商店製各種インキ特約販賣店
印刷材料一式販賣 京城長谷川町七四 近澤茂平商店 電話三七五番 振替三五三番
定價表見本無代進呈

浪六先生著 放言錄

四六判特製 定價一圓廿錢 四百三十頁 郵送料八錢 著者自書

大正名著文庫第十九編

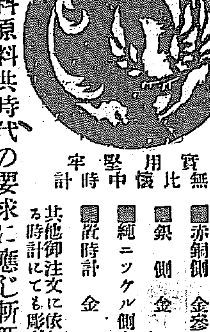
人の言はんと欲して言ひ得ざるところ、言ふを憚り言ふを恐れて口に吐き得ざるもの、之を社會一般人生全部に渉りて遺憾なく大膽に無遠慮に吐き出せしもの即ち本書なり

──（目次一班）──

東京市京橋區 至誠堂 振替東京四四一七

御大典記念時計發賣

曠古の大典に際し絕好の記念品として斯道の大家一光先生の刀にて極めて秀逸の彫刻になる左の時計を實際的特價を以て發賣仕候



責任 保證
無比實用懷中堅牢時計
■金側 金六拾五圓
■赤銅側 金參拾八圓
■銀側 金八圓
■純ニッケル側 金五圓
■眞鍮時計 金四圓
其他御注文に依り如何なる時計にても彫刻仕候

寫眞機及材料原料共時代の要求に應じ斬新のもの至つて豊富に取寄勉强致候間不相變御注文の程奉願上候

時計部 寫眞部 京城本町二丁目 織居本店 電話二六二、一三一 振替京城三三九番

千生瓢（55）

須藤南翠作　筒井年峰畫

第一戰（八）

この光榮を見て、中川瀬兵衞清秀は、舍弟淵之助を招き寄せ、逃る敵を指しながら、

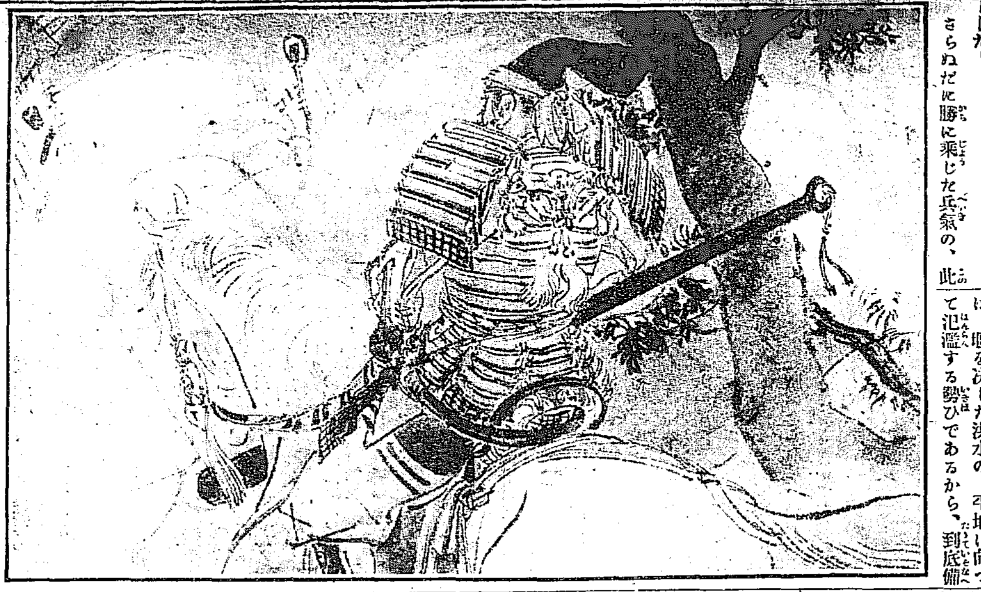
『拜郷蔵うち敗て走り居る。此勢ひに乘じて、敵の先手を粉碎せよ。息も繼がせず、足も立てさせず、短兵急に追ひ撃ちせよ』と、猛烈に命を下した。

さらぬだに勝に乘じた兵氣の、此一命に憤然として蹶ひ起ち、眞先に立つ淵之助に後れじものと、無二無三に追つかけては、此處に突き伏せ彼處に斬り倒し、海嘯の寄する勢ひにて、縱横無碍に驅り立つる。

拜郷五左衞門久盛も、恥を知る勇士である。幾たびとなく馬の頭を立て直して、崩れた陣を整へようと試みた。

『怯なし者共、返せ者共』逃げ歸つて後陣の者に笑はれな。敵の中へ斬り入つて、死ねや者共。生恥とはこの事ぞ』

聲を限りに呼はつたが、浮足立つた勢の癖とて、一支へも支へ得ず、總崩れとなつて敗走した。



佐久間玄蕃盛政は、後陣にあつて此體を見てゐたが、烈火の如くになつて憤つた。

『拜郷五左衞門とも言はるゝ者が、何といふ戰の仕ざまぢや。誰かある彼引つ返させよ』

眼を走らして命じたので、旗本の使番、鞭をあげて驅け出した。

されど、中川勢の追撃の急なことは、堰を決した洪水の、平地に向つて氾濫する勢ひであるから、到底備を立てる猶豫はなかつた。盛政は鐙の上帶緊と締め、蘆毛の駒にうち跨つて、

『言ひ甲斐のない弱兵奴等、生温い上方勢に、北國武士の力量を晒はれるか口惜うないか。よし此上は自ら一陣に進んで、上方勢に思ひ知らさう』と、八尺餘りの鐵さい棒を小脇にかい込み、先頭に馬を立てゝ、眞驀地に進み出た。

拜郷が先手に入り交つて、剩さし遣らじと追つかくる中川勢の、先途に堅く備へを立てながら、

『やあ殿原、戰は箇樣にするものぞ。我を手本に働けや！』

天地に轟く大聲に呼はり〳〵、鐵さい棒をうち振つて、群がる敵に割て入れば、矢面に立つた中川勢、忽ち十四五騎撲ち落された。盛政は阿修羅の荒れた勢ひを以て、鐵さい棒を打振り〳〵、馬を前後左右に乘り廻すので、討たるゝ者數を知らず、殊に北國勢は一様に長柄の槍の穗先を揃へて、大地を叩いて突つ込み來る。この柵に喰ひ止められて、勝誇つた中川勢も、今は一歩も進み難く退けば直樣附け入られ、進退殆ど谷まつたのであつた。

斯くと見た佐久間勢は、こゝを先途と突つ込み、突き立て突き崩す。流石武勇の中川勢も、新手の猛勢に敵し難ねて、返さんとして返し得ず備を立てんとして立て惱み、今は敗走と見えたのである。

此一大事を見ると齊しく、中川淵之助、同く小右衞門、鞭を合せて驅け向ひ、

『こゝ破られて何とする。一度死ぬれば二度は死なぬぞ。敵に一歩も進ませな。味方もいつかな退くまいぞ死ねや〳〵』と呼はつて、一同に防ぎ立てる。

退き色立た中川勢も、この勇戰に力を得て、踏み出した足を引き返し親討たるれど子助けず、主倒るれば躍り越えて、一歩も退かず猛戰した突き合ひ、切り結ぶ武者聲の外には中川勢が勵まし合ふ、

『一足も退くまいぞ』

『いつかな退かぬわ』の聲ばかり、谺に響いて鳴り轟いた。

拜郷五左衞門も取つて返して、佐久間勢と一つになつた。盛政は只一氣に、中川を討ち破らうと決心したので、息も繼かせず攻め立てる。北國無双の打物の達者と、攝津に名を得た名譽の槍と、合うては離れ、離れては合ひ、火花を散して戰ふ狀は天帝修羅の鬪諍もかくやとばかり想はれた。

讀者の領分

私の邑に元郵便所の小使をして居つた某内地人が雜貨店を始めたまではよかつたが多少金が溜まるに隨つてだん〳〵横著になつた殊に其妻女と來たら全く御話にならぬあれでは商賣も決して繁昌しまい（永興朝鮮人）▲平壤鐵道官舍某妻君は豫て姙娠十月なりしが二十六日夜便所に至りし際俄に腹痛し遂に男子を甕壺に生み落したり當時夫は出勤中の事とて近隣の者走せ寄り引揚げたるも遂に死亡したりと云ふ姙婦は御用心專一なり（鐵堂注進）▲主人の命にも有らざるに内々親元に送金せし疑ひ有る者あり若し事實とすれば我々の薄給者には經濟上一大事に付二箇月間位の間に内地に送金せしを知るには郵便爲替掛りて聞合せたらば分りますか（龍山の讀者）

商況

下關期米

▲更に暴騰す

▲本日の現物界

御園化粧品

品質の良い事當今第一

近頃到る所で御園化粧品は何よりも第一、品質が良いと云ふ評判を聞きますのは、誠に有難い事で御座ります。其御園化粧品と申しますは

- ねり製御園白粉　のり良くのび良く斑にならず濃淡自在の理想的白粉です
- 水白粉御園の月　品質効能とも煉白粉と同一で專ら薄化粧に使用されます
- 粉白粉御園の花　洋風化粧の白粉ですが普通顏直しとして御使になります
- 打白粉御園撫子　化粧を崩さずして顏直しの出來る輕便懷中用打白粉です
- 白粉下御園の蕾　煉白粉で濃化粧する時に是非使はねばならぬ白粉下です
- 化粧水御園の露　煉白粉を溶き伸ばす化粧水で脂肪性の人に適當な品です
- 御園四季の花　皮膚の荒れを防ぎ肌理を濃にする天下一品の化粧水です
- 御園クレーム　洋風化粧料で兼ねて和風の薄化粧の白粉下にもなります

此外、頭髮用御園香油、化粧香水御園の橘、御園香精、御園齒磨及び新製御園紙白粉等何れも品質優良なる事に於て當今第一に位して居ります。

製造本舖　伊東胡蝶園

發賣元　丸見屋商店

（32）

新刊書御案内

書名	著者	價
帝國憲法論	市村光惠	三、〇〇
大日本覺醒史	長尾永五郎	一、五〇
航空機	現代叢書	一、〇〇
現代式廣告文句	[illegible]	三、〇〇
心靈學講話	高橋五郎	八五
人心收攬術	川崎正輝	六〇
頭を害さぬ勉強法	普尾博士	五〇
實用諸算法	石橋梅吉	二五
ナルコ第四讀本研究	宮安熊本	一、二〇
シェイクスピア物語	[illegible]	七五
廣告と販賣	佐々木十九	一、二〇
撞球指南	玉乃一熊	一、五〇
ドンキホーテ二編	[illegible]	六、四〇
現代書生學	江口	八五
椎園家集	海上胤平	一、四〇
縮刷それから	漱石	九〇
雪の夜がたり	長田幹彦	八五
金剛草	漱石	一、二〇
つきよ	[illegible]	一、二〇
放言錄	浪六	一、二〇
縮刷社會と自分	漱石	一、二〇
根氣の世の中	鷹川克己	一、二〇
朝鮮名勝詩選	鶴村	一、三〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三

■安奉沿線五龍背驛を距る二丁
■閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し

滿洲　五龍背溫泉

■風光絶佳にして一大樂園地なり
■諸病に特効あり理想的療養場なり
■宿泊、下宿、自炊、各種の設備あり

父統造儀病氣の處養生不相叶去る廿六日午後五時拾分靜養地に於て死去致候葬儀は十二月二日午後二時市中行列を廢し途中新町高野山に於て内葬式相營み申候乍勝手亡父の遺志に依り供花放鳥等の御寄贈堅く御辭退申上候此段謹告仕候也

十一月廿七日

男　前田壯次
親戚　前田龜藏
總代　田中寅太郎
友人總代　進辰馬

葬具萬般整頓罷在り斯業に經驗深き者專ら業に當り如何なる御儀式にも決して差閊無之候

京城大和町一丁目（總監部通）

大和葬儀舍　電話二四三八番

株式會社　京城葬儀社

旭町二丁目（名古屋城下）　電話一五六七番

本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候

靈柩馬車の設備有之候

二川屋事　中河原重吉
井上芳太郎
電話九五七番